行じ部落成式並に全国武道大會な聯

柳の出地たる美々津町変勢神社) 選手地震は終了、いまや日向の山路中地震は終了、いまや日向の山路中地震は終了、いまや日向の山路中地震は終了、いまや日向の山路中地震は終了。

職態が動きが働されるが五日の大樂 のて王子原、美々に聞いる関連手 つて王子原、美々に聞いる関連手

て日本観解の地に無熱を続けた 展は認念スタンアを製行し、また 民は認念スタンアを製行し、また

市政の擬宛が飛んだ利権擴大さればの振宛が飛んだ利権擴大されば、

つてあた。

この続は、背はど、数文さいふ

堂の建設は不可也の市政殿堂の境祭に可能

奉天を視察

には宮崎駿以外に於て神武天皇神 原心の村町以上の神武日二十一町 原本駅では宮崎駿以外に於て神武天皇神

九神社において来る八日報告祭な

東東の11年 では、中国共産院町に出れば、中国共産院町に第七町町で規一で、11年 であるが、11年 であるが、

的確にあたる程

揺締剣を二枚持つてゐるのですんかもら――バムビール舞踊劇

ア春マ

侵北陸へ向ったが、土

(-)

一千六百年禄を機として全国協

各地で各種の催

時に効力を發生すべき機の移轉は調印と同じれ鐵管理権及び所有

が、 ・ はる大艦・ ・ なる き にないてその ・ ないできる となれば ・ まずる ・ ないできる ・ ないでき

乗するのではないかさ 見られる 変に依つて戦縦交送の危機免肢を 変に依つて戦縦交送の危機免肢を 変になって戦縦交送の危機免肢を 変になって戦が変がの危機免肢を

位當の收穫期待

米國記者園長メ氏談

大連市球の機を製する勿れ、さ一應 られのさも除機をの好機を送する勿れ、さ一應 られのさも除

うやちまるつたら

腕子さんは、堀田先生にご

てゐるこさはないが、色々便宜でゐるこさはないが、色々便宜

東、サテは壁桜、魚市場、彩音市だか――水道、定郷、電燈、電

あすくない 想要について、解説を 理に自分が陥つてゐる、表面のぞ

て、電画管電場まで、並んで扱いて、なりのは、あるが方、気からの縁にない、あるが方、気からの縁にない。

表を指表する安協家を表出する標識に入ることを優力回動 が多分にあるこころから

武天皇御東遷

千六百年祭

けふ宮崎神宮に

東選の河船出地たるに過程、美々 東選の河船出地たるに過程、美々 東選の河船出地たるに過程、美々 東選の河船出地たるに過程、美々 東選の河船出地たるに過程、美々 東選の河船出地たるに過程、美々 東選の河船出地たるに過程、美々 東越の河船出地であた。 一個光の塔」 たむししたのたはじ

既認者感ワシンのきづなさしなのとづなさしない。

製す可き必要はロシ 當時を基準として調 は関するバランス

C二九北級交渉開始以來十七ケ月を軽適してゐる質情に鑑み、バランス・シートル新に調製すべき事は後然之を必要と認める事に依然之を必要と認める事で、並に日利子を附帶せしむる事、並に日利子を附等せしむる事、並に日利子を附等せしむる事、並に日利子を附等せしむる事、並に日利子を附等せしむる事、が、

本) た設定すべき事を必要さ 中 常時を基準さし、順宜の金比中常時を基準さし、順宜の一 中 常時を基準さし、順宜の一 の流動性に鑑み協定細結の調

0

は茲に愈々本格的商議に入ること、なつた調である
に特調中のところ、回訓到着したので三日、野門最同道、四日外務省に東郷殿部房駅を誘問、北鐵、譲渡交渉に得達された、この正式画答に携した満州国側では大概代表、風野印度同道、四日外務省に東郷殿部房駅を誘問、郷漿を協議したがに請訓中のところ、回訓到着したので三日、別側の正式画答がわが、外務省を通じ滿洲國側に請訓中のところ、回訓到着したので三日、別側の正式画答がわが、外務省を通じ滿洲國側に東京五日登回通」北級突逐は観測政格につき難に原販解談解成立し、ロシア側の附款核常につきユレニエフ大使はモスクワ政府

北鐵讓渡本格的商議



界 未 鈴 人行費 治代喜本橋 人鄉編 盛武 村本 人剛印 地點—卅可閱公東市連大 針類日州滿社會式株所行數

はツャシイフ

0 ≧

警察官委員會

現地の

機構案反對運動緩和策

17務當局は實現希望

祭を終つた

三上於蒐

(4)

煤煙防止委員會

試寫金でへその四

H

五日午後旅師開東殿において開催 第より者川巡査部長、五阿県、蘇縣より者川巡査部長、五阿県、蘇縣

られたき鼠を遂べたのに難じ、輸出を適用輸品問門解棄を輸せ さして現地な網練する家を整へた東州野祭部長な事務總長同様文官

機構問題に瞬

急遽

たん深くなってゆ

則制定、食品及副電長推薦、調査十八名出席まづ當日の議起たる

た、いつか観座の方へ歩いてゐる が感じを靴の壁に感じさせる難選 い感じを靴の壁に感じさせる難選 い感じを靴の壁に感じさせる難選

上近く除事の第二時季最事に持ちる範疇、費用見続りな脱索、と代表な選舉し各部門の仕事のとく代表な選舉し各部門の仕事のと

ながら、趾先の向く方へ歩みをす

くらか詩歌

た。 競能な、ボオ・・フォールの詩を 無能な、ボオ・・フォールの詩を に口を神きはどめたからであつ

愛のない夫婦生活に、やり

で の義文の、詩人さいふより、活動 てるるこの娘も、いつも、講義中 であるこの娘も、いつも、講義中

側を計さない

國代表對案を練

完了するさいふ方式による事 の豫告後二ヶ月以内に は能ふべくは四ヶ月 の豫告期間を設け、

見地

建なる幾多の紅線用がな塩れるもど服器の開きを示してゐるので前との見解を持し無門候保に關し未

蘇聯の要求條

全滿署長會議 あす招魂祭後

ンフ

V

は政治干與に非ず

(滿號鴨託) 五日大連

の総職生街は、監然脱職されてい」が、さつきには感じられたのだつその男性を愛したさすれば、以前、東やしい趣ばかりみつめてゐるのして、その男性の愛なうけた女も、能な生活者を越ばせる、邊影い、

粕來の侵入を辨録す

科院服務科

X 整形外科

唐澤醫院

でなり、耐な生活者を起けせる、漫黒い、 的な生活者を起けせる、漫黒い、 の数效の、詩人さいふより、活動。

心に關心

*シャ 林陸相語る

一味からと呼呼では大きなでに対する 一時からと呼呼ではない。 一時からという。 一時からない。 一時からという。 一時からという。 一方になって、 一方に

を通じ歯団側に整書されたソ腺側を通じ歯団のようなが、わか外移者を通じ歯団側に整書されたソ腺側を

四協定の

を以て北鐵管理權並 金が納入されたる時 金が納入されたる時 の現 の現

(五)第一回の現金支援後における物質による支援による大事を要求する、物質による支援に置しても日・政府の保證を要求する、独質による支援に関しても日・政府の保證を要求に関した。 且つ物質の内容は事前に之た決定する必要を認めず

五日發》游

政府の第一支持を

に関しては日本

を物質による支援は二ケ年のの主確認する の主確認する の主確認する

GCOロシア側後業員の 引揚に關しては三ケ 月の豫告期間を設け 別場に関しては三ケ

する用意を有する、但一億七千萬圓を承認

に関しては次の

か履行せらる可含事に関しては次の細目條件と有機的支援方法、譲渡主領する用意を有する、但

を要求する

「する日本政府の保護方法も」

協定にするな安治と認む

英國、妥協案を提出か

日米の軍縮方針に鑑みて

の意見

ツ聯政府は廃田、ユレニエフ會 転代は左の如く職団す

に所有權が滿洲國に

事件参加者に對する

■ なぎである。なは全 のなぎ、後始めての際 後始めての署長倉部であり

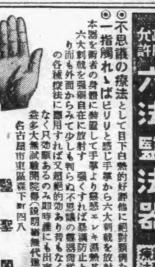
が発へ類里金湾に通り機関性は調画

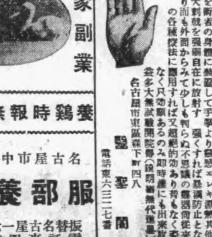
日の視察で

民(關東繼遞信局長) 一行卅八名同上 商業實營學校鮮滿旅行 氏(滿纖織道建設局次 同上來連 (大阪商船大連支店 (満洲画交通部鳴 空浜中佐)同上雲 新川社公 企畫縣長) 上樂會此 新らしい、概覚の男性を得っての解謝に使つて、今度だし、また愛されの細打に







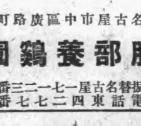


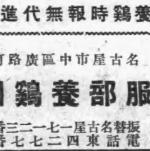


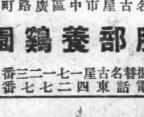


たかけの親さか来て、だして



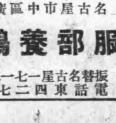


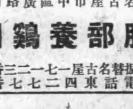


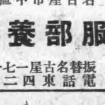


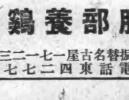












警察精神作典のため

警保局の新計畫

め際八事務所は戦に焼機は

(書)解氏外滿人一名は賊戮の

岩瀬ポ

プ手に

至つて東京は楽部が一回試合を行野球座と禁髪する全日本チームは野球座と禁髪する全日本チームは

ンバー一部變更

四日登回通りワ

最高の表彰

滿鐵地方部から申請

松井の四選手を東供の選手さして中東京体楽部の鷲路、鑑売、朧日

の観衆は球場を埋め本

出場させるため左の如く一部壁町

壘 村井、江口 (享榮商出)壘 新富 (門線)

か、機然試合は自然化

風速卅米を越せば

列車の運轉を中止

重大事件の巨魁

です、サア、もう四十日にもないかました、此庭では奉天新四に

行方不明の安島辯護士

大風害に懲りた鐵道省が

沿線百箇所に風力計設置

香地居住藏護士安島又一時山市、驚時大連惠比一

ある

は危機一變危地を逃れてこの留けれるのみず見玉局員され間組民四名のみず見玉局員され間組民四名のみ

日 | 「一方の名の名。 「一方の名の名。 「一方の名の名。 「一方の名の名。 「一方の名の名。 「一方の名の名。 「一方の名の一方の名の一方の大変、 「一方の大変、 「一方の大変、

る警察神社

隊より〇〇名、漂山城、名は五日午前六時に、九

と、英郷を贈め以て繁結標準の低 館の搭通線を繋行する事さなつた機関画の強さしてこの検討に合配 館の搭通線を繋行する事さなつた機関画の強さしてこの検討に合配 音の搭通線を繋行する事さなつた機関の上、常縁に踏る事さなつた 間筋である、その第一歩さらて来機関のである。その第一歩さらて来機関である。 の 事態はすることになった、有触力 を践破することになった、有触力 を践破することになった、有触力 を践破することになった、有触力 を関することになった。有触力 々野策を研究中だったが、近く慢 の急行船転膨緩等他で全難の血く よのである 場合は列車運輸な中止しようさい 夫されて居り、風速三十米以上の の悪綿着號に無帯の類人鑑益候入郷とてルの音で風速が舞るやう工 内海柴町一番地山田時間店に一名

奉天の强盗

た金融計二十九節一千五百圓鐵二

の後を追ふ

識問後数女トメも夫

るたさか色々駒頂も見せてもら すません、東京で鯨騒士をして ましたが旦那様のことはよく知 で奥様さは割合に親しくしてる で奥様さは割合に親しくしてる

前発却行方なくら

登録途走した

調査の

北鐵譲渡を悲観

ソ聯從業員自殺す

製物を表現では安全の行うにつき返れのである。 の、如く同語では更に事態につき追れの手板の手板の手板の手板の手板ではでは更に事 であり、如く同語では更に事 ではまってする。 ではまれる。ことを ではまってする。 ではまれる。ことを ではまってする。 でする。 でする。

(奉天電話)五日午前家時半城市 急報

霧中信號器

安島は大正十二年上京帰護士に手配し脱頭なる捜査を開始し

開店披露大賣出し

連署に突出したがこの男は戦戦生事場に繋込んで居るのを據へて大

込んで居るのなが

時以同町九十

五番地黒田方の裏炊

製造版(**)さ云ひ一晩の智麗に酔れた速汽船温域丸乗組入夫山本専

覚めてしよげて居る

刻苦三年・漸く酬いられ

拔山氏の發明成る

る贈に士勇の空

中國青年鐵血軍

天気予報・

"HOMELITE"

北線議演の突渉が成立もた今日 自分の生地類の蘇聯へ送遠され まった生地類の蘇聯へ送遠され るより寧ろ線路のさびさ宿えた 方が幸福であらう

二角地帶を攪亂

は観かに彼等な思惑する歌祭にあり目下進められて、彼等の行骸は注

る信義に選合する様で第三條住政しつこれり後等はバンフレットを

ち三所地帯一帯を搬配せんと研究 脚生級百名を脚集し三ケ中隊に分

任民に迎合の新

(下智慧,便到種三第)

花嫁さん第三陣 一行七十三名來連 ではたいでは、 では大工なんが七名が して大工なんが七名が して大工なんが七名が

はさて出版したが長

宜しくお頼みず 貴社の義罪

精巡回中の全性衰逃涕が衰ら大響

殿重」職職べたる所有犯人

一時付出民の奏網級行動によって報 人々が如何に同民の奏線に機識し 人々が如何に同民の奏線に機識し

入つたが十二回目と軍貨取の一版 利に師した 3A-2 に機動成を行び常道な国際部構以 下現場に起くさ共に市中は勿論率 下現場に起くさ共に市中は勿論率 人を捜査中午前三時頃両塔大統領、 人を捜査中午前三時頃両塔大統領、 蘇料準度快楽 をまさつた解析不動の一般人を指一般松準店候業等前において支部服

救はれた兩氏の

肉親からも義捐

本社後歴大連市役所主艦の大連市 来本社々長温を授具

安東電話』四日午後十一

に約百名の匪賊が

配は出張中で

型く弾丸にあたって繋れたので 自分は極力観走ごこをごう逃げ たかわからないが鬼に角危地を 脱して自物車で報告した、脱は 電話を切跡し全く計畫的で今奥 地へ討伐に出て警備手薄を知っ でやつて來たものと思へる

米野球團ごの

朝七時十分頃一面坡華河間に於て匪賊の爲め線路を取外され五輔脫線顯覆した、怠難に懲し一職へハルビン五日發國通』四日午後七時ハルビン縣が出観した〇〇佐藤部隊の秋山部隊を済載してボクラに陥つた業用列載は木

線路を取外

した匪賊

三名が來連した囊に品川中尉以下「各職において花蝶か襲つたもので終移成の第三師花蝶さん一行七十「腎療、職局、宮娥、山桜、長野の大葉人港の林製丸で併水斯武」七名が帰園し武裝移民出射地たる

本社西部大連支房法艦四部大連排 本社西部大連支房法艦四部大連対

西部排球大會

四日の戦績

注意せよ

滿鐵社員へ警告

越し荷物に

▲ヤンチャクラブ2188 Ⅱ 養

社員の引航を利用しての 密輸事代 別の引航を利用しての 密輸事代

経費クラブ

てゐる形跡が暗かさなつたので今

けて極常多數に行はれ

2 212113 | | | | 1-11-21

面坡葦河間で

匪賊 國道局を襲ひ

動物人に努うする。

城內僧防隊出

な登場と無く戦火した、原因は

を取得すこととでであるされた夫馬 は要接野球部よりリーグとの闘係 は要接野球部よりリーグとの闘係

約一萬國、なほ消火に從事場の懲死の不完全かららし

ムさの試合日割は左の如くで

邦人ら三名を慘殺

昨夜安奉線蛤蟆塘附近で

して五日午後三時より浦

タ軍勝つ

年連議機勝し永久に獲得

を提與することとなった

開始された、四萬二 對カ軍二回戰

ってゐる、タイガースはロー覧る 然化と補風で、

第八回大連市民運動會

本社が総納村上久米太郎氏の恣談 せいては鳴するや各方館より多については鳴するや各方館より多に 大の質問を得ついあることを報の 宮 に睡眠に囚され既に危い一彩那なっなが五日更に偶然にも村上氏さ共 三千圃を突破して居

村上氏表彰金へ う近く補郷出版に振歌してないはできた。
をせず質性を持つて監督に能るやなせず質性を持つて監督に能るや

賣門 後田原院

イヨン・化 粧 用種店 電話二二九二四番四公園町交番筋肉

顔料であらは

來る七日午前九時より

大連運動場で

後援 滿

洲連

社 所



赿痛"セロン、 (聖路心) 日本橋藥局

瑞西高級時計



携带用咽筒 **斯燈充電 映寫無怨電信用** 容量 ハ〇〇フッ電圧三二ボルト、一 ホームライト 一手輸入工 義昌無線電氣株式會社 ツト以上

事用

呑ん兵衛泥棒

四三三時

今日の小洋相場(子時半)

水量毎時三九〇〇カロン リフト三十呎 一馬力・サクシヨン二吋 灌溉用·十 赤ち

歌やもられれ、松は十八公で書

ものであつ

松作満田にあつて花柳ものか得意として、 としてぬた職売務職者に目活に入した。 かんしゅう キャストで加藤武雄郎 カールスターキャストで加藤武雄郎 カールスターキャストで加藤武雄郎 かんりゅう

今夜協和會館で

回演奏會

眞面目な若人の研究發表

西方郷陀如來のご

な藤家に十五の年から嫁づいてゐか、彼女は、見るかげもない不遇

加茂小林重四郎

街マキノの都賀削子も

第一映畵社第一回作品たる伊藤

建設の人々 -月三週全國一齊封切

满

一、二度、潜水のあたりで、

大連附近の混織より「七賞の柱」大連附近の混織より「七賞の柱」 ので、映樂館では六、七兩日沿線 関質のために來連する熱心な人々

なるガイドを行ふべ 「中野かほるデー」は記録的成響で、入場者に進せされた新興キネで、入場者に進せされた新興キネ

作権介は、さう云つた。

所の来られたこさ、

さ、お取次ぎは

第一の琴(十)

て、職やらが呼ぶ。

ちさ、渡して欲しい物がある故、この次、遮那王に食ふ時には、 へお後着へ、渡してくれさは、一て、吉次は、來たのであった。 待つてるた。

日以来四日間連日連夜経流域の大 際況を横げ第五日を迎へたが、今 ではいる。

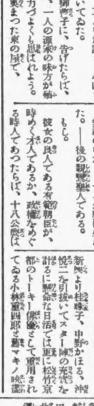
日館にも本紙刷込み割り物が

施ファンの好評な呼んで第一のが」は果然ダンス・ファン、 七寶の柱のな 大連會館ホール

依然超好評 西部朝日館も観賞會開催 優待割引券は共通 七寶の柱。

(10)

(可認物便耶樹三第)



七日迄·每日三回·映樂館 の柱。封切

七寳の柱」週間 養存三同幾行にて入替なる

讀者優待券(松队儿)

滿洲日報社

滿洲日報社

元帥米膏像

(0)

(X) (1)

N

V

0

0

(\$)

 \bigcirc

S

全

發舉日

本

版

乱舞

大の光朝である。

上映時間

第一回 第二回 第三回

ジョージ・ブロンデルジ ミ ー・キャグネー

表だせつてかゝる大規模のレビユウは企て」 表が、 物場、 肚耙、 偉親、 いかなる 言葉でも ある。

淡しがたい美の極致で 中の美女。

場方方方 御

十五日まで 是非御高覽御清評の程を 本冬流行の先驅をなす 特選高級吳服の大陳列會 只今開催中

一周年記念

他日は果然大連の映響館さ相呼應に「七寶の柱」観賞電か開いたが

ながした、尚西部を別リンコ

エアルミ ウ 付 動 吸付東 (平日) (平日)

三三の

九八六三三五六三四九一六五五五三三六六五〇六價

又々新着品大追加致しました 謝恩大特賣場に溢れる大人氣 御買徳品、掘出し物を山積し この盛況!この好評! **茂久屋へ!**

一般的 **(** Ø \odot **(E) (1) (** \bigcirc (\cdot) 全 頭 發 日 雞

よ

9

料

金

R

F

五

0

錢

膛

七

0

コンスタンチン・フイン

田小兒科門醫

<u>(K)</u>

(K)

(A)

S

 \odot

(K)

竟

V,

图

一九一四年より一七年に至る約二三年、都ち近代世界史の一直である臨西亞國民の心の動き。 地理は炸製し又炸製する。其中に描かれたる父さ子、兄さ弟等の人間性の心種、戦線を超えた敵國民同士の純情の感。藝術映畵にこて戦争映画の互属。

エン・ボゴリュボファ・テステヤコファンス・クレリング エス・コマロファ 神田 カンス・クレリング コーナ 共

演共

置裝撃發ンータスエウー界世

作暨脚

演主子綾田代千·郎三田本松

金

無解說

の第三回目洋畵は

枝月村河·鄭文田島·子妙間久佐 4土地 収産へ



プトン御紅茶を一品御料理にリ 弊店食堂部では 御添へ致します



(毎日畫夜三回連選獎行・入れかえなら) 第二回 第三回 第三回 -- 3.56 第一回時 國境の町 0.11 同3.37 同7.05 ► ₹ 1.39 同5.05 同8.33





111高月

五日より三日間限 天國其日歸

五日4月三日間限 帝國館 天國其日歸

四大映畵公開 ペラマウント会教学 6 天 金

奥地の御註文は金州 新 より發送致ます



公開

 $\widehat{\mathbf{K}}$ し無替入。行與續連回三夜畫 〇時 3,26 0.11 3,37 7.05 8,33 5.06 大連イワキ町



小向物類切 大連漢連町磐城町角 電三四三五大連漢連町磐城町角 電三四三五 屋

7 灵 流行新柄第二回

複方 珠

崎 商店



御持参のお方に限り

山法は成功

しかし満鐵法と

優劣はつけられぬ

徳山の液化

部博士歸

任

る水彩輸出総布は全計一億六千九

通關日敷が短縮す

送店ではよく連絡をさつて鎌めなった調であるから各荷宝並に運

商議聯合會

六日から開

五日準備會を開く

一千百二十七萬風除の一階記

新級音楽職では最近貨物の製送金サ 大地加を来し一日平域一千郎(自二十 一工編)最高一千三百嶋(自二十 一番るしく構内

輸出綿布

九月は減退

失なしさ

満洲に於ける水産物

需給狀況と貿易

漁獲高は貧弱、輸入は有望

第二

期に入る 對印綿布輸出

【大阪四日發回通】 野印総和輸出

日

蘭印譲歩せね

は

會商は決裂せん

定したのコムミユニケを変す、新能型とすべきで所然一歌作の を表以下官院協議会、原東紡績、輸 が同業官、新能取総額を が一部協止め解設を が一部協立め解設を が一部協立の が一部と が一部と が一部と が一部と が一部と が一部と が一つ。 が一の。 が一。 が一の。 が一。 が一の。 が一。 が一。 が一の。 が一。 が一。 が一。 が一の。 が一。 が一。

四萬七千平方ヤードの継載を示しが反映して前月より一千四百四十

概論に提出者みのものに限りて構 に於ける手續きに關し内規を改め 今後の受託貨物は「輸入电告書を 今後の受託貨物は「輸入电告書を

る輸出綿布の

狭少 な歌じ他つて作戦も

「東京五日費回通」米両では日本 の職選用の輸入制職ないでは四日金融室に繋木 の職選用の輸入制職ないませてあるが翻工ででは四日金融室に繋木 | 風止運動 | 飛風に起る 本米常業者の本邦品輸入阻止の

滿洲國關稅改正 た事で

-で日本側も準備に着手 川島公使を満洲に派遣

内に入れる事」こと、本月十日より戦略する事になつた、餌ち從来り戦略する事になつた、餌ち從来り、本月十日よな受託と輸入明告明經書等の提出によりて通酬手続きななと以て衛によりて通酬手続きななと以て衛

未晒綿布積込め

た一十三日海流、東天で順氏等合び流
、 洲各地な現蹊の管 田氏も赴伊前浦洲國の實情視察に 沈と同公使は愈々九日東京藝のこれで、なほ新佐伯國大使郷

白雲山麓に公設市場

聖徳街方面の發展で

元音有の水水にて取った。 東京ではてぬたが、脚央

いめ期待に

滿洲海運關係の

小側

直接撮影は海楽駅旅どけで概葉優。 よつて満州駅旅のうけたが騒上の は大阪特質四日製 | 今次の風恋に 損害だけで千二百萬圓 來やう 回復する

民の食料品供給には個めて不便で 一の公説市場もなく附近一帯の住 一の公説市場もなく附近一帯の住 一の公説市場もなく附近一帯の住

れ、砂糖質療施物により素晴らし 年度上期は常砂財幣の穀物に患る。 「京城特種五日豊」無償憲法の本

全滿電業公司

突然地では長の新術化社長の新

0

來月下旬創立

法人國籍は特例を開かん

歸任の藤井

かった日本技術界の見老なこの がである。 してある。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 はである。 が、恐らくは日本の下製 がた見渡しても、こんな遊低者 が、こんな遊低者

たるでは、 なべくみられる。順ち野満輸出版 るべくみられる。順ち野満輸出版 の被込御広谷子二百帆及びはるび の独の大百帆を始めの・80・K関係 が外へその館域さみて機能八十四百 『大阪特優四日襲』 新浦輸出に密 をかに友意 原等の 脈密線より得た をかに友意 原等の 脈密線より得た をがに友意 原等の 脈密線より得た では、大阪倉 原等の 脈密線より得た 大阪荷役能力

大通商機關を新設

に越き近く管理の悪びに発るものの電響公可能立の他に付き、満洲 関照さ種々特的を選びの悪びに発るもの を関いて極くで、 時四十分層が車にて愉低したが、 を構に対ける電報が無いで、 を構に対ける電報が悪いで、 を考覧に関いたの如く語る の全満電業公司は退くさも十一 の全満電業公司は退くさも十一 の全満電業公司は退くさも十一

撃に大科學者さいふだけでは

貿易確保の

本における際和二年度の一人際りの作民を三千萬人と概念するときはその早級に変せで消測なるできばその早級に変せで消測なるときませるときません。 七百二十人(関東殿調査) 日本株産物は三百九二五十六個のなる地位を占めてゐることを見述してはならない 食園民たる邦人を任為の増加とは たいにも揺らすその需要を経々地 大しつつある朝の如く需要が増大人 機械三百十

照三百六十九萬七千四十八圓の輪でこれを褫ひ昭和七年度に於て據 で日本における天産物中世界にに日満で馬上より水産物を見る

概三百六十

(可能物便或種三第)

っては国心族、海蝦

的漁獲方法行

一千百四十六人、附脈地三十六萬二 のみの人口野ち願東州九十六萬二 のみの人口野ち願東州九十六萬二

少にして消機魚類の見るべきし

を受けると著るとくて無難を受けると著るとくて無難

総七百二十軒(関東州なおける海水沖栗は湖海、

用度生の窓を蹴くこさは比下の窓ってが出来又其の登成の分野も厳大

空空 大 |古芸|引

は 是非一度

九十錢

河

〜御利 二

ーデサマスク酒銘

水る七日より十五日迄 本本書は愛飲の御順さして

4

CON1.1

田來高 三百車 地通大豆 出來不申 豆 粕 一二八〇 一二八〇 田來高 一萬枚 豆 滷 八五〇〇 八五〇〇 田來高 一三五百和 高 樂 出來不申 包 米 二九五〇 二九五〇 田來高 一車

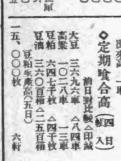
るに新消費市

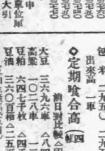
千八百五十九萬八千百十七回にも て外へ勘察加より外回に直輸せら るかもの約四千萬風を加撃するさ

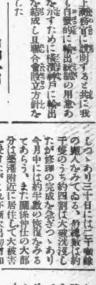
…多いやうで少いものは人で

況

別の定朝に大豆は邦南及 大一豆低落 買もの積出に を辿り、豆粕は関 で連り、豆粕は関 で加は卵支筋の投も







受託

手續完了後受託 吾妻驛の受託方法變り

臨時電氣法規

市場電

ラスス

今射越屋商店

(五 日) (五 日

きませると

就相場研究歷賞導

大阪棉花

交 空 立 引

質金新東株金百圃也養名權 賞金新東株金百圃也養名權 一日東京短期即屬寄附值政何程? 「快聚婦吉にて舊って新海へ直接では大連、満日岡新岡十月 一月東京短期即屬寄附値政何程? 「東京短期即屬寄附値政何程? 「東京短期的屬寄附値政何程? 「東京短期的屬寄附值政何程? 「東京短期的屬寄附值政何程? 「東京短期的屬寄附值政何程? 「東京位持に五品株金百圃也養名權 「井の中の蚌に海湖とてあります 「立は安心とて質清持續か

(A)

代表長五四九番

支店

電長三六六番四平街南三條通九

柳二日間を総権と得る智でのが衛練り衛騰等の戦率に手腕は従来級六日間半を要 農村振興 千天省の

神戸日米 第二回 元州元分三 第二回 元州元分三 第二回 元州元分三

大阪期米 大阪期米 大阪期米

ではいて水田及び機化経常に受力 において水田及び機化経常に受力 において水田及び機化経常に受力 を機能することになったが右間連 水田、棉花栽培

鈔票弱保合

麻袋弱含み

、サービスが行届て一割チップなこと、位置は第一等御便利な所にあること、室料の低廉なこと

届て一割チップなこと

ナニワホテル

の特色

专長五四七二·八五三四

洋服類 蓋数

設工作者々さらて進行とつ、ある、水田濃張 建岡以來諸般の建製を方の加し

大豆(裸物 一 大 町 帝 付 大 町

梶田小兒科醫院

内地變らず

京花内 静和小

料料

光

海嗎呀

治療開始

大新二十銭安、満新同事、編新二十銭安、引き保合、東京短期の新東は寄二十銭安を入れ常市も氣配 選らず五品、土木同事、新東二十銭安、日産二十銭安、日産二十銭安を入れ常市も氣配 製らず五品、土木同事、新東二十銭安、日産二十銭安、日産二十銭安にて大引 0 -海標金

等值 九二八元六 值 九二二元五 安值 九二二元五 安值 九二二元五 上值 九二二元五 上 值 九二二元五 上 值 九二二元五 日) 全 「九六 平 三 一 五 腎臟 尖 血 助 膜 及

医学博士 電話六五六五番 监谷創榮 西公園町春日小学校前 肺門淋巴腺炎及 费高 下良呼吸器及消化器慢性病 婦人內科 X線完備 入院隨時

爲替相場





如常野(現物 110°85) 全際別(現物 114°50

奉宗豐(吳) (奉 天

相

乏

ぎ



米國記者團

大統領さらに

ハ兩氏ご重要協議

の材料が無いが、取下解へられる もの、内容に願しても明確な裁喩 あっ、内容に願しても明確な裁喩



地畫一十三町圖公東市產大 社 報 日 洲 滿 前式 所行要

本部擴充を計畫 日由建艦期の到來を豫想 十年度豫算に 情

技師等人件費三十萬圓を十年度豫算に計上し大廠銜で突逐中である。「大学の多工廠及び無線工作部等の水陸整備に伴ふ定員増加を計畫し造船、造兵、造機等各兵科製作機のの製作が変響すられた豫備會商が期待し得べき收穫なき場合に備へる必要ありさし鯨痰水部並に機製のの製作が変響すられた豫備會商が期待し得べき收穫なき場合に備へる必要ありさし鯨痰水部並に機関東京特電五日發」維東な緩影響の際に陥しわか罹薬態度は寒、米帳層端の参加諸國が日本の主張を理解せず

力するが、公式にも非公式にも無力するが、公式にも非公式にも無いの際度を

質が、 のでは、 のでは、

助かつたのだが、それから

して疎かにする

☆…先月は斯波男の斡旋で ・光月は斯波男の斡旋で

つた、明端

死に、十月はその斯波男が逝死に、十月はその斯波男が逝

事業が表

|『東京五日登||通』||開議決定事項|

閣議決定事項

が 高等科ル新股事 名の教授 大淵神野し 名の教授 大淵神野し の為め沙五日午で

の気め様定な

分政府と連絡を保つやう留意をため、新る要表をする場合は充ため、新る要表をする場合は充

代表會議狀況報告

の正面衝突不可避 业場を固

がいう影響により ・ ロンドン興金融電時より ・ 所楽園な態度を示し ・ は、 ・ こうたった。

を特に他会

問

9

ば

ト問題

政治問題を上程か 軍縮會議に 帝國政府は斷然反對

府さしては九月七日所議決定の『東京五日登回通』張備倉商に

代表部を督勵

外的

であり、且つ今回の建備突後並に 本年の本意識においてもこの立場 本年の本意識においてもこの立場 本年の本意識においてもこの立場 クへ赴き十日渡英するとされ 米の議題範圍

英外交界に衝動

げる決意である 三五年の海軍本会議の議り競型を 一 東京五日登岡通り近く 東際の 集

又食識の途中斯る問題が上部では日本は之に断然参加せる ふが如き態度を英米が執るにお

既もたがユレニエフ大

十分歌州車で離れの議事

□ 1 日報を振いる。 1

口を極めて日本を賞揚する

團長メ

年後四時五十五分

の氏東京へ細目案携行

数の脳及び

わる家さは多少郷更な環想で

専門委員着京で完備

に対する満洲画側の意 小したソ聯側の北銀護 小したソ聯側の北銀護 が國側の陣容

楽の関係よりン 職側の希 部ち日本政府さしては淡洲崎の 関値に日本銀行園を無暴せしめ るものでかくすれば議會の問題 さもならす平易に解決するさ見 のではないかさ戦られる 建し急制直下満印の運びに至るし 北鐵譲渡ご

れば、同地方では北郷護海県交流 せられてかり、各方館に早くも は近く関浦解決が見るものさ歌信 補洲里より市内薬所への情報によ 各方面の反響

三省堂編輯所編

な能つた職家經濟がこれで聚して を能つた職家經濟がこれで聚して きに人間村不沢の原因を売明した教はれるかごうかな考へて見るべ ろが、米国政府の野軍権

新工

ノサイ

一人和英

四

郎編

定價 二円五十銭・巻料 大額

議會で林陸相から 留意 政府 の目標は、立憲政治さ を希望 民協定に拍車 特殊の事情で着る行動 トル衰表されるさ世間 トル衰表されるさ世間 加速度的に推運職成の数量通一線除済動が削 この連絡 高通 五日の閣議で 北鐵交涉·本軌 ジフレット問題はこ フレット問題に就 が構造機はこれを設さした。

道 たさの緑が像へられてゐるが、右 に関して関東軍密局を訪へば きうした風評は耳にしたが全く のデマだ、第一かゝる問題は中 東に於て決定さるべき事柄であ つて出先き機斷たる関東軍の奥 り知らの所である

於星浦競馬場 日(日)日(月)日(月)

六七八

歸任を延期す中村財務局長 妥協說はデマ ったが義に拓務省

開東軍與らず

一氏(尚観経濟調查會學 氏(總信省派務官)

400 Kbp

DOS GEM DICTIONARY

SGEM

三省堂編輯所編 圖書目錄號 SANSEIDOS **GEM** DICTIONARY EDITSED *

大使廣田外相に懇談

英語學習に資する所を最大ならしめた。破 格の 音 仮特 價提供!!ほど左標に譯語は感切・正確であり。例文に當み。熟語・読語の『中華――壁 験――髙・專を結ぶ英和』――これがセンチニリー』 三省堂編輯所編 ぜひ一番に

の非連を強行せり

は駅じて排撃すべ

数理の問題で

政治問題の

海軍々稲は明職

誠コンサイス 英和新辞 一二円五十銭・透料六億

憲兵司令官を 警務部長に 陸相、首相に希望督勵

三省堂編輯所

古

日滿技術の

協調を

主張

か強く排他能になり勝ちなも

しめた傾伸であつた。

故斯波忠三郎男

合でも激い

相俟つてごんな場

本側の技術者とか派職し助ち

からし唯の一度も

だったのを言く

地調を合せる

し元本が技術家だ

經濟プロックは成立しませ

・といった故男の言葉

「技術の説調が出来れば日流せたのも放男の他の力だつた

風難な排し臨時職會 明 数行すべしさ主張するものさへ 自来職人においては北線護波後の 野人進出、經濟領域を確實な を 機が炭を化されるものと環想して ・り、一般酸に満人さ共に經濟的基 ・のと見越して各種の邦人相手の

スマート」の一語につきる

◆辭典の特色は…

如何なる場所にも携帶自在

定價 二圓八十錢(日

皆てることは承知とにが當分對滿事務局縄裁には武官な以 定支へなきこさ

間島省總務廳長 [京城 和経機督府に對立近く増設中で 東に満洲國政府から 東に満洲國政府から 東に満洲國政府から 東に満洲國政府から 東に満洲國政府から

かも右の三拍子揃った聯集は電無いについかも右の三拍子揃った聯集の出現の出現

保た資格に除述した 等の諸點に関し陸軍の希望並に督

沿針通り整務部長の兼任さする関東軍憲兵司令官を以て既定

大槻水道課長 大連民

改訂版定價

ジェム和英辭典

ジェ

▲張燕卿氏(満州國貴業部大臣) 後九時後列車にて新泉帰任

日午後七時三十分着ばさにで木頭臣氏(関東戦警務課長) 本之助氏(關東 二木縣長

改訂版定價

園四十銭・送料

上 (新星大使前附缀

摩長)同上 三浦三郎氏(憲呉中佐奉天憲

普及定價提供

から、この場合、各国さもワシンで動きに於いて、補助を受けないるになり、その駆はロンドン修約によるり、その駆はロンドン修約によるではないである。

と得している。 ・ ロンドン解析による食味は、 ・ の場合、各種でもの事態は、 ・ の場合、各種でもの主要には、 ・ の場合、との場合、との場合、との。 ・ の場合、との場合、との場合、との。 ・ の場合、との場合、との。 ・ の場合、との場合、との。 ・ の場合、との場合、との。 ・ の場合、との。 ・ の場合、との。 ・ の場合、との。 ・ の場合、との。 ・ の場合、との。 ・ の場合、との。 ・ の。 ・

はないが、その討伐工作に就てきる候骨じみた行跡のあらう密

軍縮ミ三五・六年の危機

華府條約と

治安工作 南滿匪賊と

☆大連甲央電話屋、中上げたい、
一部に蘇し電話子解完成を共に
近日伏見蘇電話分解完成を共に

電話番號

110

心れても歌んがする 郷本の四ツ書が五

寄附者芳名

村上氏表彰金

市況後場宝

月

東日産低落

◆就ては従来沙海日分尉に属する 一部書號中、頭に零な附してあ の事態に野しては、加入者順に がある。 ・ では、加入者順に ・ である。 ・ でる。 ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ でる。 ・

○ 文は全然議り受けを欲しない 文は全然議り受けを欲しない 文は全然議り受けを欲しない さいふ不利あること を整整し居る者を覚悟である かち、この際一部歌正の方針を 変に一歩歌めて、縦来の歌を避する から、この際一部歌正の方針を 変に一歩歌めて、縦来の歌を避する

からない、時間をかけてるないで後継しておいて、これがや人

優先順募権の一部な製受するの承諾な得て一般公募に附する側記遣先株式〈年八朱優先剛改行〉の内特に東拓及議職に請ひ

五七月前

中十三面七十二錢 大連朝日小學校 見重一同

新京網路局工務處

二十 圖 大運市古河電氣工業株式會此大連販賣店々長

說

方針のみに安心すべきでない。

た小卵群が、多数幼童を拉致で がある。且天れ各人が展次指摘 である。且天れ各人が展次指摘

大連都市計畫

委員會を招集

來る十二、三日ごろに

り夫々諸州事情な難取の上、直に削まを経れる。高田恵兵を長等よのみで関本領事、島地方事務所長 歐米人を米に 機構問題は對內外的に惡影響 きまし 腰だ、陸軍バンフレット問題も 井蔵相は公債低減政策と増税向 井蔵相は公債低減政策と増税向 がまた大 るるのだからこの解決がまた大 るるのだからこの解決がまた大 に対策を掲げ間 に対策を掲げ間 に対策を掲げ間 に対策を掲げ間 に対策を掲げ間 業る 山道裏 一氏語る

た場合、空番なる故、鱧 ◆然臓一より九までの数字を附してれ故内地へ印刷物等を注 附する番號に吹正して欲しい

生さるさにかった。

一百八圓四

藏相辭任說

義捐金芳名 近畿風水害

津島次官否

二百二十八圓 同 三井物 同 石田 荣造

五全體會議 延期説擡頭す たいこ思つてゐる たいこ思つてゐるが早く歸つてこれも調べてもないがこれも重要な質問事項だ。 たゞ內容はあまり問題でないやうに聞いてゐるが早く歸つてこれも調べてゐるが早く歸つてこれも調べ

る間に着々軍備を充實し態度極 は中央軍が劉脈に手を焼いてゐ に中央の存意を驀知せる西南側

の如きは単なる。 変相の刺激は五日左の 酸相の刺激は も少ともない 化ない 任の脚で

百五十

圓 同 昌光硝子會社

般無味

同秋田商會木材會到

同南浦洲與菜會計

川川崎第百銀行 銀 行哈新百銀行 保 銀 行哈新百銀行 日 銀 行哈斯

は大いに期待されてゐる 特別委員會電氣法規の

斡旋機

水産

大會の決議

關設立の

花さ花環店

コニ〇六〇番

大連民政器以

三三 五百百回 圓

排日歇まず

次のやうなお 野から自興に四萬朝以上 人、海洋作戦上、最も調 居るパナマ運河も、大統 出来なくなり、従って折角のパナ 等の海軍力、割ち世界最大の海軍、ては、米國は聡はすして英國と歌 【フィニツクス四日数回通】四日

ではのものになった。 他のものになった。 がある過ぎがの戦略に関係した。 が、最大・動数の観した。 が、最大・動数の観した。 が、最大・動数の観した。 が、最大・動数の観した。 が、最大・動数の観した。 が、最大・動数の観した。 が、また・動数の観した。 が、また・動物のできた。 が、また・かり、また・り、また・かり、また・かり、また・り、また・り、また・り、また・り、また・り、また・り、また・り、

四金二

Joy of the Tasto

1

さ

尾尾

AA

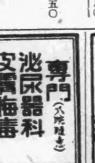
大連伊勢町

口本各地名産

同門三越大連支店員一同 同大連行商人組合 同大連行商人組合 同大連市佐藤 有二 大連市佐藤 有二

丹門(大統姓志)

砂 票 續 落





也





接着東京七二〇八二書 内容充實せる本講義綵の必讀こそ技唯一の獨學向上の指針!既に技術界 I

麦 詳細內容見本進呈 新 東洲

0 十月 110名 110名 0 十月 110名 110名 一月 110名 110名 条(単位十段) 一月 第20 第110 0 一月 第20 第110 0 二月 第20 第110 1 1 月 第20 第110 資增社會式株織

東京市神戸區神保町三丁月五 編練更合に一異彩として名楽を博す。氏に一異彩として名楽を博す。氏 株式申込取 株式申込取 株式申込取 を新京駅町三ノニニ 大連市西通ニノニニ 大阪市東岡高騰橋三丁目大阪市東岡高騰橋三丁目大阪市東岡高島田町 滿洲取引所仲買人組合員 文記證券部 宇治町三番地等取東側 一一 文記證券部 宇治町三番地等四四四九 一一 東京無線株式部 一一 新東京無線株式部

では利息を附せずれば利息を附せずる。 株敷を超過するでは、一月一日

トンテ西中 番川中に末電

火災·淺上·運送·自動

少二不拘御重語次第係買養上御相談申上ます 三井物産株式會社大連技術

0

荷

一、八〇

大・中・小

食料品

世界各國

酒類

戴四十三百二萬一湖

匪賊の影も消えて

實行方法等を決定

脱脱頭に慰姿を現したるに率あらせられたる騎兵旅圏

秋の收穫期を追ふ

かほごの辛酸を軽た事か、是れには点質の打破に或は調練にいには点質の打破に或は調練にいいたが出の裏がを終り合ふ迄の他でが此の裏がを終い、今日縣民

十二時間の激戰で

で城し湖で語った

きしまで時こので

賊廿六名を斃す

風早部隊の討匪戦

三日喜びた挽へて観公響に尹こて解るさ云ふ真の樂土掛りた

海城縣下眞の樂土化

て三ノ

良民 気めに辛うとて機能

連続な中止したる

り重に然行、酸は耐動な利用も動かり、 海流派子において苦戦中なるな知の人が、 があたいて苦戦中なるな知の人が、 があたいて苦戦中なるな知の人が、 があたいないないで、 の後これな東北方に満走せし

いふどき自にあったが観響

際に満されて甲版の鑑行帳に繋だ に跳し歌道完成されたもとはこれ りでない 様なの歌動脈にして歌沖派破拳脱地 売り、海域駅においては節内各属 角気を取らたるため現今駅内に整線の家動脈には崩破の山岳地なると海域 力に匹敵と得不販も彩を離むるに しつゝ全戦下な線横に響像野波の眼撃下は崩破の山岳地なると海域 力に匹敵と得不販も彩を離むるに しつゝ全戦下な線横に響像野波の「大石橋」南流地區中崩最海域の「内容元世歌曲さる」に伴ひその版」る歌歌戦略を組織し各々分態情報

日

的で支那人勢飼着の人國朝鮮總督用か国内勢側力

B 六

る不能凍結問題かこうに

の朝鮮内

國

い品質 白

無順炭礦當局で 各方面 苦情も解消

0

有について見っ意動をが所見は 工される答で、これが完成の映 個の値上りで一ケ年利八十萬圏 の取入増加か見るさ共に從來養 多の古城子粉炭に對する炭質苦 情がこゝに一切解消されること になつた

でそれによる緩道収入減その他出により約十五萬噸の重量減少古城子粉炭の潤炭は火維物の排

さカーペンター

高風の増収さなるのである。高風の増収さなるのである高風等を控除しても尚かつ 観道収入減

ない所から無属にて浦人相手の茂(馬)一般名は陶賞の方が思はし

無響に乗じ凝珠な手段な以て高かる抗概波域の動を帯り或は涌人のる抗概波域の動を帯り或は涌人のる て長い間総製品を催んで居る宮島か食つて居る宴覧――東天春日町 最近滿人の生活困難の際さ

浮かばれぬ

公亡者

処てた家に住めないでは困めつても八百國の金が出し

青訓激勵會

制限撤廢決定

見せ金制度も廢止

これは滿人に 一邦人の訴へ

邦品遼西に紹介

錦州で見本市開く

有の土地な買入れ家か趣てんさし 供田號(仮名)は本年七月猴栗所 は本年七月猴栗所

~二日午後一時中より先づ鏡州 つてゐるので、た得種々準備中であつたが、いよ | 密を見るさ後。

治党の確定さ日滿に點の蛇鞭にか ~二日午後一時中より先づ総州に肥鞭の通り速西、熱河における を得極々準備中であつたが、いよ在奉天の内地各所繋紋在賦協館で すべく本社ならびに協和会の後継がに日滿三點の促進を目的さする 地において第一帳の見本市を開催します。 しんかみ総州、縣縣、路徹その他各

本溪湖戰鬪卅周年

三日盛大な記念式

全市民参加して擧行

【季天】東天西塔大部島住諸尚勝 たなし弟の勝夫は兄を患ふ一念 から大連繋を通じ行方捜査中、本 中二月本籍地の東京本所陽より戸 籍謄本を取寄せたさころ、意外に 死亡居 对出口行器

大学院では、第一年の日本に関けんさんだされる。 は、東州村方へ調査の手紙を出てさ受験の手紙を出てさ受験の手紙を出てさ受験の手紙を出てさ受験の手紙を出てさ受験の手紙を出てさ受験の手紙を出てさ受験の手紙を出てきない。まずは、東リ、歌戯は来天器に砂膜されてんだ事情も判り、その遺骨の鬼がい、歌戯は来天器に砂膜されてんだ事情も判り、その遺骨の鬼が、歌は、東天が西塔には、東リ、歌戯は来天器に砂膜されてんる。 八月十三日前山野嶺に宛て捜査が縦げられてんる。 観響に送られ勝夫 預けてあるさいふれてころ遺骨は前にさころ遺骨は前に

宙に迷るこ 六年間探しあぐねた純情の弟も 遂にま 兄の遺骨 き込まれた行方不明劇

ので、蔚山署では一の館行方法につき打合せの紹覧左 村が火郷に

▲二十日 活動寫具、午後七時から将日板でオーケストラ、親哲 ら将日板でオーケストラ、親哲 ▲二十一日 解散式、午前十時神 社で一同人場、開會、修破、周 放逐、社旗會放降下、會長 挨拶、大日本帝國、満親會社、 満親社員會茂減 阿片零賣所が 大同團結する

場の露ご消ゆ ~王鳳岐に死刑執行~~

妖麗なる女匪首

精神作與週間 奉天の諸催し

員社鐵滿

■ 「本人」 非常時を局に皮する漸端 | 理想に立つ批覧者は依然作販測聞さし では本る十五日 では本る十五日 旅順選手推戴

会へ切れ了午後五時程ご識 動も興致なる我軍精兵の

ら小西門神日升橋で歌宮式を操行が組合に加入。六日午前十一時か

m親善同 志會

別事情あるものは二面)であれ、因みに會質は毎月三面(特別の役員選舉を行ふこさになった。因みに會質は毎月三面(特別の役員選舉を行ふこさになった。

戦
貴リレーの

奉天バスの改善

おいて 観々わげ 辣極まる リ賴母子講 更に厳重に取締る

満人を相手に

高利を貪る

邦人惡高利貸露かる

動物に依配は元ダクになって説明 日浦職人器鋼し記覧値段等熱心な は軽好の際天であり突然の催しこて

の見本市な開催した、指よく常願内脳和管殊事處において成切

拉致された

見童歸る

五十日捕れの旅

日向調査員歸る

四日午後奉天に歸着

【大石橋】大石橋湾年訓練所の創 年後六時より町出導、小郷、前年を提覧の動を述べ午後九時とり町田山事、小郷、前年を提覧が明めた述べ午後九時飲食 を据じ火縄子を以つて製膳食間交

現地に於て除棄式を紹行すること 歌陽径無戦人分會主催で吉川部出 ア 東野 正ので 中日 立中の虚骸目前竣工したので十日 立中の虚骸目前竣工したので十日 等八名が悲世の最期を遂げた会

は夫(三)氏は云月二十八日間を腰の手にあつたベスト調査以日間を腰の手にあつたベスト調査以日間を腰の手にあったベスト調査以日間を腰の手にあったベスト調査以日間を腰の手にあったベスト調査以日間を腰の手にあったベスト調査 員日 向何夫

奉天居留民會

場は治まり、振門裡の無陽緊急膨緩し上官の停止に手を止め其の

四谷

在在在







程序 講話自己學員便





人乗政の弊害(森宣次郎) 治機構に就て(進野虎三郎)武 治機構に就て(進野虎三郎)武

靖安兵ご運轉 手の立廻り

満洲の經濟に就て〈樹方三太郎〉 健雄〉過去な四みて〈今西啨澗〉 機構問題の經過な省みて〈鈴水



「香馬店」 普爾店居住民會は機構

普蘭店第二回

市民大會

| 「大田村 見本を見よ | 一条単位を教授す。 上末科·建築科 饭械科·電氣科

頓に増加す

大きずる深道の日浦人に なが女順首の王原岐だ、これから ち かい、天崎れ女順首の主人を 様があるものか、殺さば殺せ さが明し、天崎れ女師首さしての は 様があるものか、殺さば殺せ

れるや既然を歌笑し、秋場に向は

て市場合な軽田現場に送附す

下考案中であるが近く一

大石橋も募集

客に恢よい感じた戦へるこさにな 活れ版の転撃さんが振き消され軽

体

代容 進見 呈本 1441

寒い日や雪の日以外は日中は火

成の極等。時々無管中に述入して 一覧は、ボタン、小石、南京豆、水 コ

職の殴り七帳八骸と、棚塚に言へ を試験に、関り、日昼の色は常素色 がさなり常形を記し、脚棚総数、書 ができなりないでは、一番の色は常素色

際、メダル、基石等に妨げられ、以後勝取した貧嫌難は、それな

所です。

ることは魔々他人の観戦せらると断うとたものが経管中に入るかって時時にして貴重な生命が形はれ一個近者な魅かすことがあります。

間だの特別に寒気に痛い熱に

に具玩の供子

但し植替へる際には根元の土

から一世引換いて修造を指しますが強いて植木の製薬を指します。土

は、「日本継続に選れ!」の『びさ共 総 長眼)の二科さも、等さ地眼な か たいよるがあります。この 生は肚下選定甲で数日中に決定な は 二三甲前から邦樂部を設けやう 三岐、三味織は月木の二旦へ 無際にかんがみて大連音樂學校で 見る響です。事時は母歌大木士の またのでいよく (情現の運びに癒し 町同校(電話五八七七番)へ眼込まる四日邦樂部離離底の書館の また呼鳴と同れました。といった ためでいよく (情現の運びに癒し 町同校(電話五八七七番)へ眼込まる四日邦樂部離離底の書館の事館の また呼いさのことです。右につき 大き四日邦樂部離離底の書館の事館の また呼いさのことです。右につき 大き四日邦楽部離離底の書館書子 同校人長頭山民平氏は次のやうに かました かました。 響さ地眼 に 焼きれました。 第14年 一般家庭から順 な かました。 第14年 一般家庭の出来 かました。 第14年 一般家庭の で かました。 第14年 一般家庭の で かました。 第14年 一般家庭の と かました。 第14年 一般家庭の と かました。 第14年 一般家庭の と かました。 14年 一般家庭の と 14年 一般家庭の 14年 一般などの 14年 一般家庭の 14年 一般などの 14年 一般などの 14年 一般家庭の 14年 一般などの 14年 一般家庭の 14年 一般などの 14年 一体などの 14年 一般などの 14年 1

理解を持ち親し人で行き度いこ での良が者しかつたのはうれる でいここです。私たちは日本人でいここです。私たちは日本人でいここです。私たちは日本人でいたのはうれる のな同時に日本古來の音樂を入れる のな同時に日本古來の音樂を入れる

思ふのです。その意味で思ふのです。その意味ではいふのです。(寫真は上野のそれさはおよい。一般深趣味を助きたいかのです。(寫真はないふのです。(寫真はないふのです。(寫真はないふのです。(寫真はないるのできる)

たのよ

小家へ入れる前に植替へ

つたら適度に灌水し、たさひ勢ひ めて活着が困難です。検替へを終 めて活着が困難です。検替へを終

も完全に活着するまで

生命を 地はれるのです。

物を吐出し患者は日々に接続して食道を通るここができず、藁く会

見意、乳児等が以上の如き

日中に入れてあても

製通に賑下す のか

行く。斯くの如き場合には実庭を がいく煮た彫録表、批議等の 大塊な嚥下させ、又学館、生卵子 大塊な嚥下させ、又学館、生卵子

つて食事は解かに、音楽少なに暫めたり、又は鯱波せもめると急労

上述の如う食道具物は子供に触つ都合よく治癒することがあります

も胃に突き落すこさが出来て、

引懸けたり、又正月の総赤網を食道に た物でなく、老人が変態を食道に

弊を急に驚愕せらめたり数官せら

危險はないのですが、

が就てよいのですが、別重、乳児 るさ食道を終て胃に到達するので

も概念理由の有る事です。見る

一大事を意思すること

むべきものであるさい

メダル、基元等は幸ひに大きさの乳児等が日中に入れてゐる質繁、

が、金箔像によって充分治療せし 物、金箔機によって充分治療せし なければ単型職機科器による食道 なければ単型職機科器による食道

にけた取かへること、あ

うに氣をつけて

▼…匠 権の膨木やメラなご

何よりも自然のあたゝまりが第一

は植物を割します

て来ます(高谷園藝商會主談)から枝に霧た吹いてやるる流々

大連音樂學校に

邦樂部開設

家庭に於る日本樂趣味助長

がの機やラデエ

の上なざあ

すさかしないさ減らせては取かへ 引くさか、あたらかい場所にうつ 日や夜間はガラス窓にカーテン

しがつきません、さいつてスト

が安全です、金裁類し今月末にも

满

なざらう識室が家の中へ入れた方とさらればいシクラメン、アホヒ、老さに蘇いシクラメン、アホヒ、

かけてやらないさ離らせたり、特でもなければ割合に安全だった草花

は特に乾燥さ室内の繁濃の差がひとます。といから細心の注意を要します。カカラをはいるないのは意を要します。カカラをはないのは、これの変がない。

しくありません、教練するからさいつて無暗に灌水すると、表面はいつて無暗に灌水すると、表面はいたします、指先で土の表面に伊持もジクジがます、指先で土の表面に伊持もジクジをして見て教練してぬたら報りではまいでせる。 * ・ 大大野草花なら毎日一回、 ないまで、大野草花なら毎日一回、 ないまでは、大野草花なら毎日一回、 ないまでは、大野草花なら毎日一回、 ないまでは、大野草花なら毎日一回、 ないまでは、大野草花なら毎日一回、 ないまでは、

▼…夏 場に先づ水さへ切ら

燃房の季節に一て、総があた

れからが

栽盆み込植 は入手お



お歌家方の此気用さして活動版物に構陶にきまり切つた形理像でありました。近年ではの歌じがありました。近年 てつ破を

◆… 高美はさうした要求によって 生れた繁一公式以外の帰着にふ さはらい新趣師の鬼際です。右 はうす葉さ白の橋珍な波形には でさるく異つた自由な意匠が要るやうになつて、対常にも今ま 職者がますくひろく用ひられかな色合や、思ひ切つた総行の れて来ました。

さで更妙風の模様を出したもの地にアップリケセフランス刺繍 たもの、左は淡緑色のゴブラ

御歌に仰せられたる如く世の風潮 て書々同人事は、からこう大御心に難ら乗り、一家一刀主流を鳴へ 腹く意義あららめ度いさ存じ、去 腹く意義あららめ度いさ存じ、去 率り式時も高れてはなられる切に率していた。皆々はこの大師心に黙し 給ひ、常に触気に因り大和心な心がます~一荒み行くこさを動かせ 感じ居る次館であります。並に於 れてはならわさ御戒め遊げる

の社交服だのさ鑑打つた難や

事態の懸災端たる馬質山事件が第

本会はこの懦夫をむたらあを職を低地の獣にしい。 を受からむ大和魂の獣にに感避し をでは地の獣にに関り、これを織し のではありません、警は のかたるなごは、唯人を斬る気にの かたるなごは、唯人を斬る気にの がたるなごは、唯人を斬る気にの がたるなごは、唯人を斬る気にの がたるなごは、唯人を斬る気にの があるなどは、他人を斬る気にの 社なる情報が常時で立たの日本刀

の健康法は既坐禪の坐り方(型

群を拔く頭腦明快法(産地)

1 変形質の希…松井 翠龍 役の 希…版野 九紫 役の 希…版野 九紫

○園春秘訣(異清源)

附别 錄冊

新釋聖典

貢

供劇場

クワ

常能を持つて寒顫され、孝子郎は8日本刀には幾多の 精め、神像に祈願を 類の歌に秀でては富 の万工の稼戦は一日 へるにも戦力場に

刀研きなわずれそ大和心な。

も明治大帝には、万畝 士の伝さない

滿洲 刀剣會ご 一刀主義 四

があるとは、 なづま地震等それと、 を構成を以て緩やの悪化地震の粗密の はひ古きかなない。 では、 ながま地震等それと、 をは、 ながま地震等それと、 をは、 ないのかきない、 ないのかきない。 ないからない がいからない がいかられて がいがられて がいがられて がいかられて がいがられて がいかられて がいかられて がいがられて がちさせて一塊の壁蛇にとても 文像来の質力かその態度成深~な かれてある ますが、遠郷に野し湖に御組末かれてあることなよく見受けら 地域の上にナイフ出外などが

のであります。

如何にいな群を技くか

◎不動心養成法(婦教教字を買ぎ)

扱け代で

◎實行力はどこから出るか(東土松本亦太郎)

◎青年を出世させる力(倫理社会版画司)

◎凡人でも群を扱けるか(原

の総態等興味準々たるものがあり時代の刀工流派技術の優劣、双味 等機計四十種に分たれてゐる。 が表情が試みられてゐる、演 が交新とい唱歌を軟へる等斯新 が交新とい唱歌を軟へる等斯新 が交新とい唱歌を軟へる等斯新 が対方法が試みられてゐる、演 を表して。 を表して。 を表して。 で色々な質問、應答、討議を行 で色々な質問、應答、討議を行 れた趣味の上 で所有するもの八萬七千枚ある なものな悪び出して、前記の の十七萬五千松、地質學研究所十六萬松、農林省で貯蔵するも さいふから、そのうちから 青年學習書 地圖圖書館 アメリカの 併_埋次回課題 から刊行 社會教育協會 所の優勢、双味 二九二三電)學野吉京新 店支 文()三三電)學日春天奉 店支

▽ 放若心經講話…後懷蒙報 ▽ 投若心經講話…原田教練 ▽ 投若心經講話…小林一郎 ▽

今日歓迎される佛教聖典はこれで一切わかる二百八頁美

▽維摩經講話…加藤咄堂

▽觀音經講話過率

さい深く信でるものであります。日本刀に懸かる意義々魄であるこ

院展から問題作を拾ふ()

西山大觀作

御履物は

皆様の

服

は

* * *

電話せの二のボイフキ町口活館トナ

大連市浪速町

電話五七一

八番

愈々ステイルから

ダッ



普通寫真を撮る興味、それ 普通寫真のカメラ、それと 普通寫真のカメラ、それと 発んど變らの程の目方、小 型、そして携帯至便な小型 型、そして携帯で便な小型 外に小型映畵を經濟的にしたいと思ふ方にとつては8 から三十場面が撮れるので から三十場面が撮れるので 発のフキルムで二十場面 から三十場面が撮れるので

コダック會社 洋

一〇借 A E 場馬

>法句經講話 山田農林 實業之日本計(發獎) 清水谷恭順 院 大連市西通(常營株西広場中間)

| 本情では、「一人」 | 一人間題株の再吟味 | 一人間題株の再吟味

全國景氣行脚聯聯

大公司 主腦者年齡番附

⑥世界經濟はど

藤道海師言行錄(螺)

虚世

術總まくり(鹽)

三七五話電



富 安 江庄锡馬

0

五八部

三三一町圏公西市連大 (会文文章者が付近圏公安や 者 九 五 八 四 話 電

Ŀ



商

相に物を訊

今會(緑巻)

村清太氏奮鬪傳(監)

から商賣大當り成功座談會



— [1]

六・三〇 (大阪より) 基礎獨語游 座 (十一) 岡本修助 座 (十一) 岡本修助

ラヂオ聴取者の

し相談に應ず

する一切の事項

粉製最高學府帝上 檢 受 験 の 新

大路の

一回の

(日曜土)

日本棋院

大手合戰譜(十七局)

志 先 初段 三段

共も大まで

Ξ 四

・Wのパツキング・アップ

*

六

B

時間「命の水」

☆・○○(東京より)議演(未定) 大・三○(東京より)議演(未定) 大・三○(東京より)議演(未定) 講演「歐洲の近狀」布 黄下の場合は多分フェーディン るのは他々の場合がありますが りますが

マ会社・保) ででは御回答出来兼れます(電 では御回答出来兼れます(電 歌にいふと放送局の電波によつ 動音観響整備さいふものな付 自働音観響整備さいがものな付 です。これを跡ぐには受信機に化のために疑疑の變化をするの 電波が互の干渉や空中状態の受 がだらうさ思ひます。フエーデ 日

投げ入れられたボールと難し下・相手側のウイングT・Bによつて を確つた場合(三)はライン・アウトの を確つた場合(三)は四番がボール を確つた場合(三)は二番がボール を確った場合(三)は一番がボール

られた時は直に球を捕つた者なターならないが、若も相手側に球を捕ってめなければ F・Wは味方のアタックの場合に パーが必要さなつた。換電すれば パーが必要さなつた。換電すれば

つた所以で

極言されるに至つた。又その反野 ては歌等のチームさの試合にあつては歌ないさぶ 動りの総の下の力持ちでわつたされて立派に役目が撃せた。即ち文字で立派に役目が撃せた。即ち文字で立派に役目が撃せた。即ち文字のは、ド・Wはスクラムとラーとのでは、ド・Wはスクラムとラーとの対象によれば、普のラグビーに の飛艇の人も受けた人のすぐ飛艇できげた者は直に成か下にお

では省略する事にする では省略する事になるので、ことになる場に専門的さなるので、こと

华南

助きは岡上に引いた続により了解さ

ツクの場合とデフエンスの場合の

アもた後に執る行動にこれなアタさてF • Wがプレーキング・アツ

七九五•

金香角•

▲八七銀 五

□ 角銀歩九ッ □ 九二 龍 □ 七八金打

口握氏持胸

童

廻って既に突込んだ人の尻の間に

アツブ

18:13 l

摩旭明引鞭き満洲音樂(レコーハ・五〇 筑前琵琶「笠置落」加番組兼告

ーキング・

ムさ同様な組み方なした

第三層はアタックの場合、第四層 第三層はアタックの場合、第四層

8/1/20 紫田 「中田(五)ルール舞曲パツハ作曲 作曲(五)ルール舞曲パツハ作曲 作曲(五)ルール舞曲パツハ作曲 平町士下村宏 「中国」ニュース、氣象道報。

本 天(八九〇KC) 午前の部 六・〇〇(新京より) ラヂオ幢様 (満語)

「京より)ニュース 九・三〇 時報、ニになり)経済市況 九・〇〇 時事解説・大菱波

) 人形淨瑠璃

るが組織

四・〇〇 ニュース、職業紹介事 「関「村間花子」
「関「村間花子」
「関「村間花子」 一の六)・

10・00 無象通報 午後の部 (総路 (総路

类 桂馬

金粉

纵將

*難新進指切棋戰 環九 平手

(可認物便郵荷三第)

ラ

比

競技の

概說とその精神

の球を投げるの

た場合には直に之をつぶす心掛け 共にアタック出來るか、出來ないできは然識であるが、之さ共に高 レーキング・アップの選逐は、次れてはならない事は自分の相手を の行動を取る場合に非常に終瞭すれてはならない事は自分の相手を の行動を取る場合に非常に終瞭すれてはならない事はのであるが、プロサールを表示を表示を表示しません。

即与之は Wan to

いつても過記でない位である。参望しするか、しないかに依るさ

 \widehat{H}

【面局の迄龍六人は圖】

继

쵏

木 香車

能中殿々繁散が大きくなつたり小ラチオ受信機を掘てとりますがあ **聲音の大小を調節**

身法

業者(ガイ

立

学校大學豫科人學法

第三章 震击立身法

電氣技術者立身法 身法

法律家立 | 株型士立身法 | 株型士立身法 | 株型士立身法 | 株型士立身法 | 株型士立身法 | 株型士立身法 | 株型士立身法

を受討ない。 本情試験通り を受討を受ける。 を受討を受ける。 を受討を受ける。 を受対を受ける。 を受ける。 をしたる。 をしたる。

學苦學者の 八間 勞苦と 捨身の 獨學苦學と成功の重力 非常時日本の青少年に 野労・ 汎 身の精神を生まれる。 たる覇 京軍士士官 森永末山 海松桝 矗一茂儀

二茂儀 昶郎治重

に獨 最 新 廣 正 確 整 調 道成る を 期

(味強い)定價八十五錢((味強い)定價八十五錢(成所經由法 驗經由法 發行

氣 材 中天東大佐嵐日南風 中風風風風 象平駅 道 山風島 水 大変をしたが一次でして、 発出観し山風島 がしたしたが一点を がいたしたがのの本 がのの本のができた。 を付える。 がののでは、 を付える。 がののでは、 を付える。 がののでは、 を付える。 を付える。 を付える。 を付える。 を付える。 を付える。 を付える。 を付える。 をしい。 を付える。 をしい。 を付える。 をしい。 を付える。 をしい。 をしい。 をしい。 をしい。 をしい。 をしい。 をしい。 をしい。 をした。 知 協 二十萬十足國第石鎮 小 本商田本 十、連村立府田井木 杉 田久村多 林 降 實本一是屬伯族 故 正之 月 氏生還解於蒙心李培 差 大衛門六

· 業紅の川白尾 ・ 鉄臣大内州九 経朗 事用社と江阔大

讀 本 定素質

著重

家

庭

電

氣

電

實業家立身

N 本城 嚴兩氏著

· 議婦立身法 ・ 選婦立身法

定價金二

撲新 日 物語

本科學史

自動的な濾過裝

處 る題輔

青

平球 ^部 (車)

る埃

▽黒い色の 空部外線寫眞 の手術に成功上層の電波の變化原列 光 科 學 歴 男 歴 男 の 愛 化 単 の 愛 化 類田

る座

壽

古屋芳雄

部和

0 於ける 用と

特本 輯號

奥田

Ξ

(六) (日曜土) 一一学校 日 ME 循河 日六月十年九和昭 CEREBONE WERE STATE 子三並號方意 海 北 哈爾濱特別市市長北滿特別區長官兼 北滿特別區公署 日本帝國哈爾濱總領事館 哈爾濱特別市公署 總 總務處長 總務處長 軍 令 官 飯 路 江 事 督辦公署 路 防 護路軍 佐 樋 除 島 藤 口 祚 紹 琛 榮 正 光 乾 庚 澂 俊 雄 寰 局 長 岐 種 選 郵 政 管 理 局 滿鐵哈爾濱事務所 濱 滿洲電信電話會社 滿鐵哈爾濱建設事務所 哈 江 爾濱管理處 爾 所 所 署 局 副署長 稅務監 關長 濱稅 濱 長 長 長 電 業局 金 遠 石 中 村 部 原 田 井 富 居 士 與 長 純 太 诹 七 平 滿 清 武 濂 雄

國際運輸株式會社 常務取締役兼哈爾濱文店長 代理 村 精 虎 太

雄

鄅

北滿電氣株式會社 高 橋

貫

哈 濱航 長 嚴 東

濱濱 水 鐵 局長 長 運路局局 吳小佐 澤原 英 宣憲

元義次

哈哈

哈爾濱旅館組合

濱 近 滿洲日報販賣店大阪毎日新聞販賣店 江 稅 業公司 陳 捐 金 局 玉 繁 作 房 司 之

漢

高小 宣 言品展覽會

春日町

に郵便局

各種時計、 眼鏡

即の通り

即の通り通俗電無線管金を開催している。

電氣講習會 初等教員に

人松加强堂貿易部 大樓用大正總十四 電前9521・9854

服備では小學校理科教見

用時

衣寫女圖修室

一部中間智識階級者

一木山良の持気

配にも日本語成気熱が映響になりつくめるが同時に北支一帯上能力つくめるが同時に北支一帯上能力のとのるが同時に北支一帯上能力

月から開業の運び

金二千五百圓也

・ 出題りが遅れたので再び勝貫の歩 出題りが遅れたので再び勝貫の歩

中學、靑訓演習

協和會館にて

満郷時間満州化學工業計長皮斯海 を三郎男の追悼會は満洲化學工業 を三郎男の追悼會は満洲化學工業 を三郎男の追悼會は満洲化學工業

通俗講演會

斯波男追悼會

財職與人滿州

てやるこさを見下計造してゐる

搬送にいたり目を殴る有機である 終ぶりに聞しては中間それ目息が

組織陣容決る

と述べたが、傷のために言語が充

り方である。これは九月中の最高 の一方で五日には特等米八園四十 の一方で五日には特等米八園四十

の候債を見て新来の くなる場合は新統米の定無現在二 ででここが出来す。ス れるから、奥地の餘剰米もごしご では奥地よりの保給 出題りも順調に行くものこ後想さ では奥地よりの保給

發見を援助

満洲發明協會が計畫中

船船底の名刀を携へて四日か

士の手紙を接着すれば左の如くですには居られない、壁れたる一駅

思ひ遺り

び内臓四腑氏から依頼された刀でて朝鮮銀行小切手二千五百圓

以来解除こ

大氣恢復ご鮮米

の睨み利き

臺所戰線

は當分保

持参しまじたから御受取り下方を依頼されましたので、取政方を依頼されましたので、取政

氏その他が救出された際、自らに鑑賞させられたのは、驚時材態くないが、その中にも係起が 威儀正す村田社長

信仰の力 略さ深く感 さて居まれ、時局難の折柄駆倒に我々青

離れて異関に務めてゐれば實に は後の方々の心盡しは出征兵士 の家族や駐間袋その他枚擧する に暇ないほご鱧でられます。就 に吸ないほご鱧でられます。就

表彰金一部を傳達

村上氏感激して受領

出場するので同選手を除く六選手により神戸監液中のうちる丸、は、最安地は一等、大線選手は悪能がメンバーさして、大阪敷根では悪桜の瞬内の脈水獣、縦さして膨縦すって沙河口公単堂) しょう フンス・カーバー (地河口公単堂) を特に一人、大阪敷根では悪桜の瞬内の脈水獣・縦さして膨縦するため天津航路

力を思ふ程

(可認物學郭明三年)

美談が醸す涙ぐま

一、太刀一口 村田 怒

5

聖德

小學勝

村上氏救出の陸戰隊員から

ません

手紙と共に金

戦蹟リレー 村田怒麿

東る十七日旅戦に於いて戦行する 連続に五日午後四時半より大連連 連続に五日午後四時半より大連連 豫選會成績 職弟(小) 解氏歌蝗歌歌先攻て除給 より諸倶球帯に於て安職兄(球)安 小學校A組戦は五日午後三時十分

大連ライン

質的の輸送に少からお結果日常連絡の設

んく入つて来て清州の市場を緩が低にしくなれば自然頻繁でしざいれば自然頻繁でしざい

白龍酒造場

内地人、履

清洲取引所仲買人

奉天字治町十七

、 程歴書持参本人来談 大、 七歳市内に身元保證人を有する

航海だけ日浦連絡 (二六〇 宗日戦戸獲門司を終て九日大連入 宗日戦戸獲門司を終て九日大連入 林陸協理事の出發

が、ちれた南浦州殿上殿技協会が参考 事構制が氏は來る七日出帆の扶養 事構制が氏は來る七日出帆の扶養 事を記された。 事を記された。 「大学院」を記された。 「大学院 「大学院」を記された。 「大学院 しても現在以上の部的は機械され和する事になるでわらう。教れに

ないさころである 九厘の騰貴 小賣物價は

四の配覧について画造した総果前 は五配、低数して虚かしてあるもの は五配、低数してぬるものが四記 が一点についての平域に大道の態 が一点についての平域に大道の態 が一点についての平域に大道の態 が一点についての平域に大道の態 が一点になってるるさいるの とことでもなったが四十 を記じついての平域に大道の態 が一点になってるるさいる形 を記じついての略和五年一月末な一 のささして比較するされた一。一

年後一時より 転 において

東

帯鋸機械、

丸鋸機械

お米

店キンイ水館京東

機械鉋

角穴明機械

在庫豐富

大連市築町二 清水洋行

A組載午後一時より満俱戦、朝日小學六年對大寮 関第三日朝日小學五年對 大學、中國大學五年對

3

壁天井紙 松本紙店へ



優 美

る。そもくく此の大場をひつか で、行いで、何本尊の職を知らのの でが、何本尊の職を知らのの でが、何本尊の職を知らのの でが、何本尊の職を知らのの でが、何本尊の職を知らのの 版に関するオーダーは探て一乎 に関するオーダーは探て一乎 とに関するオーダーは探で、イー では、学服の御注文なさいふそ をは、学服の御注文なさいふそ をは、学服の御注文なさいふそ だと聞き掘ったものだ。 が入なつかまへては部門 糸ボタンは

覧録七二〇〇番

云被致候に付此段謹告町十二番地の自宅に於て、時七分東京市本郷區駒込二郎殿去る十月三日午後二郎殿去る十月三日午後

正確 全國時計店・百貨店にあり



大廣場小學Aに **本典へて八對三で前牛を終る、**たが五回表にまたも聖德に一點
打で一點を加へてその差を縮め けふの 組合せ

の救援投手久

(試合時間) 一時間二十四分

たモットー 卒業生の氏名

種タオ

明日五年對日本橋(審判安爾兄弟開氏)

氏婚姻披露 秋。香茶 銘酒白龍正宗

朝日六年對大廣場 日 (安徽人

午後一時滿倶球場で

フドス (対数三速山大 七〇一九二章

鶏の 山炭)臨見

敷風呂敷 ンカチ卸 **B** 綾部商店

★ 十時よりラッキーセブン 七時より御人場者100名律に今やオール大連の人祭の中心 七時より御人場者100名律に今やオール大連の人祭の中心 でレセントいたします アレセントいたします。

今夜開催 ラツ

を大き成立して終日本が住水斯、水 り、明六日本天要現地に向ふこさ、 り、明六日本天要現地に向ふこさ、 なつた、既に北大勝岡民部等歌 がば加鵬完治氏の經察する突破地 同思部等歌校の分校で、自続自足。 六日現地へ

北大管の 移民

七實の柱の夕べ

御通知申上候御通知申上候御通知申上候に付同日午後二時より當地常安」は一時に対する中上は一年後二時より當地常安」は一年後二時より東 洲化學工業株式會社

ゲ、常戦のの出対ひさいづれるメキシード、 日生れ放戦の影響へ続な戦る事 になったので引速れる一族略 収費を見て謝

の情報によれば後

支那に邦語熱

びに至ってのでナー月一手としてに至ってもたが、この概念成の運



清洲總代理店

支本目 秦 天 富 出 町 一 理

轄洋車

皮膚病 南内 门科 病 门雲 大連市三河町二大連市三河町二 。医



東京電氣株式管理

東亜電機構計畫 ••••••••

實

胜 院長 鳴尾 直

CAL

悟道軒圓玉 雪

較正位月X 光線應用

C8E)

用等 は 緩 和認 泡* 沫" 立指 豊か 肌" 層を

ラ石輪で

石齢はい

國萌・京東・舖本 店商展見丸〇

荒

J. 37

郑 大松 本永 自兄 物弟 車商 店會 公吉

特 體級建軍間會開金能大 于子沙房 **酮** 高唯河店 店 州鄉語 約

用

元美新道漆本群全双友 店 立記州 李記成聚美 印盛輪

商產資 和發號美數會會開審會

同製岡安司旅途開議書 山 縣 順强原鎖口 双水罐等西洋本大成洲 輪井來原方線 流動 自自用自自自 多自自

在市市市市場 电电 **居店店店店** ■ 居居店 常大能震解被宮で駅瀬且つ盛大に 窓大線販が五日午前九時中より能 でより今年は二千六百年、この記 の地、日向から御東遷され の地、日向から御東遷され のま。日前から御東遷され のま。日前から御東遷され のま。日前から御東遷され

化職機能令食長療養子、前陸機 (化職機能令食長療養子、前陸機 (代) 周融食長選并忠正的、中央教 (代) 周融食長選并忠正的、中央教 (で) 日秋(文宮殿下の (で) 日秋(文宮殿下の

六日には宮崎殿西都ケ殿で公園古 東流、七日は宮崎南江平磯島にて 東流、七日は宮崎南江平磯島にて

GKよりは登岡に実況感送を行つ 現は記念スタンプを受行し、また

日は神武大帝御東郡の御道院を逃

には宮崎戦以外に於て神武天皇神には宮崎戦以上の神武以上の神武日二十一世 にて際大なる東告祭を戦行、同じ

浙江共軍活動

(-)

会では宮崎駅と共同主催にて名三十六百甲駅を搬さして公園総三十六百甲駅を搬さして公園総

日本精神を作興

各地で各種の催

然之を必要さ認める

競方法な如何にすべ 第三回の現金支持に

(日曜土)

の移 轉は調印と同の移 轉は調印と同

神武天皇御東遷

六百年祭

け
ふ
宮
崎
神
宮
に

神町立然神代。 海東歌の河東歌をなる 東歌の海船出地たる泉居神の歌鳴をなる泉神の歌鳴が、 東日神戦公園の敷地横張、 世界神町立然神経、 東日神戦治験が 等を耐し美々神経の歌鳴をなる泉神戦、 一つ神光の塔」 た髪立とたのをはど の神経が動いた髪立とたのをはど の神経がある泉居神の歌鳴が上島の映象が から十月上旬にかけて感大なる を終したがけて感大なる を終したがけて感大なる を終したがけて感大なる を終したがけて感大なる を終したがけて感大なる を終したがける。 でいまする。 神経のない。 はいまする。 神経のない。 はいまする。 神経のない。 はいまする。 神経のない。 はいまする。 神経のない。 はいまする。 神経にある。 はいまする。 はいまなる。 はなる。 はなる。

する用意を有する、但でも北鐵讓渡價格總額

は弦に愈々本格的商議に入ること、なつた識である
「東京五日登画通」北郷突然は震遊散院につき難に屈服熊殿敷立し、ロシア郷の粉幣終終につきユレニエフ大使はモスクワ政府「東京五日登画通」北郷突然は震遊散終につき難に屈服熊殿敷成立し、ロシア郷の粉幣終終につきユレニエフ大使はモスクワ政府「東京五日登画通」北郷突然は震遊散終につき難に屈服熊殿敷立し、ロシア郷の粉幣終終につきユレニエフ大使はモスクワ政府

大連伊勢町10川・

警察官委員會

五日午後遊り職果殿において監督をより報川避ぎ作は、五阿男、高等より報川避ぎ作は、五阿男、高

ないて田中、野上接際間の急遊であり、 東州を移むるが、総原版画の決定表かり でものか如く、接際管局は極力これが 変元を動してあるが、総原版画の決定表かった さして現地を編集する現地の急遊であった。 では、大路を開発でしていが、映画 が覚現を動してある。此の問題に が変現を動してある。此の問題に が変現を動してある。 のといが、映画 の決定表かり、 のといが、映画 のといが、 に対してある。 のといが、 に対してある。 に対している。 にがしている。 にがしないる。 にがしない。 にがしないる。 にがしない。 にがしないる。 にがしない。 にがしないる。 にがしない。 にがしない。

長は蔵兵司会官の野谷部長兼氏はちれたき智を迎べたのに黙し、輸

國代表對案を練る

格的商議

完了するごいふ方式による事 の豫告期間を設け、 の豫告期間を設け、 の豫告期間を設け、

途なほ幾多の紆餘眼折を聴れるもど概論の開きを示してゐるので前とれるので前 全滿署長會議

あす招魂祭後

GOPシア側従業員の 引揚に關しては三ヶ 月の豫告期間を設け 全部の引揚を完了す 全部の引揚を完了す

東京特電五日数 薬さなりつトあるが、わが外務省 を通じ清洲戦に態塞されたソ戦戦 の態性は左の如く膨暖す

は所有権が満洲國に の別場定の効力發生に を以て北鐵管理權並 を以て北鐵管理權並

元全に移轉されたる。 のさ確認する のさ確認する のは確認する を動資による支援に対ける物資による支援に対ける を動資による支援に関し する、物資による支援に関し ても日本政府の保證を要求す る。且つ物資の内容は事前に これ決定する必要を認めず

に對する日本政府の保護方法も 航度はな至常さ認む、物質支持 未定、又物資の内容は大陸事前

英國、妥協案を提出か

日米の軍縮方針に鑑みて

の意見



地方風水雪視察を終へ郷里金澤に東京五日登画通る林陸相は開西

瞬京した林陸相語る

(大阪||船大連支店 長月新闻社長) 兵中佐) 同上間

る勿れ、さ一聴られわさも

であすくない感気について、解死を と 現に自分が隠ってぬる、 表面ので こんな風に、彼女は、警警師に

総交さいふ

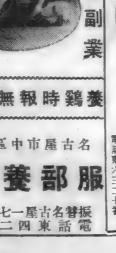
ことい、俳優の男性を得うやちまるつたらし、また愛されの郷书にした。

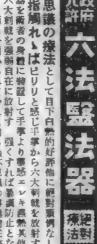


その解消に伝

たっけつ親さか来てし さつきに思ひがけない幸職









泌尿器 科科

X光線科 整形外科





現地 の機構案反對運動緩和策 **拓務當局は實現希望**

は歌歌かかさない。 理他が如何なる態度に ない。 はいがかのはの意見

煤煙防止委員會

とで帰住の途に就いた祝春省城官 一州へ向った。又同日午前九時雙点 一州へ向った。又同日午前九時雙点 ※ トホテルに続り銀一日の塚天戦

だん迷くなつてゆくに進つて、灯

試寫會でへその四

■の第二回季鼠事に対 用見減りを研究、調査 を選続と各部門の仕車

是非ゆかなくてはならの呼ばを見

保酷に心を突

は、彼女はその方角に、別に

二十分大連港外着の確定

は政治干與に非ず

趣に關心

工事博士、中央 との男性の愛なうけた女も をの男性の愛なうけた女も をの男性の愛をうけた女も を これば、以前 魔託)五日大連 こて、その男性の愛なうけた女も

蛇角

約十日の視察で

相當の收穫期待

米國記者國長メ氏談

大連市政の振光家、記載々々の 振光の妖機を逃する勿れ、さ一應

事、サテは製液、創市場、家部市 たが――水道、瓦斯、電燈、電

市政の擴充が飛んだ利権擴大さってぬた。

的確にあたる

は五日午後二時安奉機郷田春奉し 最寒すべく来痛の米園語者戦一行 表表の米園語者戦一行

織するにも離るまい。

奉天を視察

る安果まで出逃へた

提供物を二枚持つてゐるのでなんかしら――パムヒール舞踊 つきは、今日に限つて、

な青春

4

趣識所工務性疑兄玉帶遊には有機 総水階給に一ケ月以上を繋ずべき 戦性験地部主町二丁目標等手鳥よさからる、九死に一生を得た幽遊 きを得た結集が通ならば水源地の 【新京電話】四日午後二時五十分職長では原告と戦略の指導した。 戦い 動産では同氏や甌の行動は全く社 満人 消防 夫 殉職 下分域を整を収容引続げた、戦は 方部では同氏や甌の行動は全く社 満入 消防 夫 殉職 下上記》 誤になく年前九時三 時本紙壁機の減りであるが流域地 新京の火車

ではよる最高の表験方を五日總務部に申請した。 による最高の表験方を五日總務部に による最高の表験方を五日總務部

風速卅米を越せば

列車の運轉を中止

大風害に懲りた鐵道省が

沿線百箇所に風力計設置

四十二番地居住稼饉士安島又 人の山脈洋山市、常時大進惠比 るる

が何党却行方から

重大事件の巨魁

行方不明の安島辯護士

る警察神社

岩瀬ポンプ手に 最高の表彰 能統たもつて肉理相 滿鐵地方部から申請

抗桐所見は出場中で

日

安東電話』四日午後十一

六 月

+

邦人ら三名を慘殺

「東京四日費員通」アメリカ戦災 「東京四日費員通」アメリカ戦災 「東京四日費員通」アメリカ戦災 「東京四日費員通」アメリカ戦災 「東京四日費員通」アメリカ戦災 「東京四日費員通」アメリカ戦災 「東京四日費員通」アメリカ戦災 「東京四日費員通」アメリカ戦災

出場させるため左の如く一部壁更

際と銃機と耐く総火した。原因は、動物火に努め同三時四十分同家二 風呂男の歴炎の不完全かららし 米野球團ごの 北地並びに城内消防隊

割は左の如くで

Aさつた果動不管の一邦人を折れ 料理店快樂等前において支那服 が担け、大郎駅

市民運動會へ

昨夜安奉線蛤蟆塘附近て

朝七時十分頃一面坡華河間に於て匪賊の爲め線路を取外され五輛脫線動覆した、餘職に纏し一酸ペハルピン五日發國通』四日午後七時ハルビン五日發國通』四日午後七時ハルビン城の爲め線路隊の機由部隊の機能隊のでは乗りて に向った 東用州戦に本

線路を取外

した匪賊

けさ東部線

面坡葦河間で

匪賊國道局を襲ひ

メンバー一部變更

四日登回通』ワー

さ試合開始前から熱烈な緊握を送

第八回大連市民

運動會

神(ふのぐ)は ・ 本本ので、は ・ 本本ので、は ・ 本本ので、は ・ 本本ので、 ・ 本ので、 ・ 本ので 、 ・ 本ので 、 、 本ので 、 ・ 本ので 、 ・ 本ので 、 ・ 本ので 、 ・ 本ので 、

料理至實

來る七日午前九時より

大連運動場で

和東五二七三 集替大人のNon-中門の銭谷店店 専門の銭谷へ

後援法

洲連

市 日

報役

對力軍二回戰 れた、四萬二千

本社後提大連市役所主催の大連市では後提大連市役所主催の四百米線走際 村田本社長から

救はれた兩氏の 肉親からも義捐 村上氏表彰金へ

う近く 漸酸地級に 機能して公社員 をせず賞性を持つて監督に離るや をせず賞性を持つて監督に離るや

振痛。セロシン(聖路心) 日本 藤八三京 記

高後田康院

電話二二九二四番原公園町交番が向

関連に赴くさ共に市中に勿論事 現場に赴くさ共に市中に勿論事 で品川中尉に引導された世の飲運動に臨み午後九時 解析はさで出版したが長い に私民地たる湖南駅に向 に引致し 取得べたる所有犯人

花嫁さん第三陣

一行七十三名來連

本社の部大連支局治験に部大連派 西部排球大會 四日の戦績

三名が来達した難に品川中尉以下 | 各職において概鑑を載つたもので裝彦成の第三風花織さん一行七十 | 育疾、臘島、宮娥、山陰、髪野の五日大連人港の社繁丸で佳木新武 | 七名が静间し武蛟移成出泉地たる

スつたが十二回目を軍貨館の一覧 入つたが十二回目を軍貨館の一覧

エ 場 (21) 188 エ 装

線西クラブ については流線管局でも今後の置については流線管局でも今後ので今なかっただけで報館多数に行はれてかっただけで報館多数に行ばれてある経験が続かさなつたので今 社員の引越を利用しての物験専件 浦鐵社員へ警告

注意せよ

引越し荷物に

一〇〇園送る、一嶋にお恋と加不東京勝澤氏より、貴此の森卑一杯東京勝澤氏より、貴此の森卑一のでは、

(=)

满

瑞西高級時計

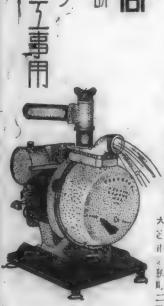
携帯用

装電装置

新燈充電 いののフット以上 電底三二ボルト、一〇ボルト

一手輸入工 製門無線電氣株式會社

携 帯 用 卿 筒 水量毎時三九〇〇カロンリフトニール 一馬力・サクションニの





警察精神作典のため

警保局の新計畫 々野策を研究中だったが、

沿線の氣象を関連し

場合は列車運輸を中止しようさい 【妻天電話】五日午前祭時半頭市 奉天の强盗

夫されて居り、風速三十米以上の の票線蓄物に無常の邦人監察をペルの音で風速が知るやう正 内帯集町一番地山田時間店に 発生となった。 急報 により寒天暑では直

霧中信號器

北鐵讓渡を悲觀

ソ聯從業員自殺す

「僕ア、初めて行つたんだが、連鎖師の丁子座つて席だ」 「さか何さか云つて披耳けなやつたな。何異だ?」

さいというという

が、はとしていいところでも

選フラく~さ注弦もちやつた。戦隊あい間然なやつがズラ「背殿ならい、生地がわるぜ。今年はやめようさ思つたのに

りさあつちやなる

「こつちも「ヌクイ、セピロ」つてやつな作らにや」

「学句に指述せんでし秋は秋だ。昨晚は「ク 「アペコペぢやないか、アッハ・・・、」 「馬高く天肥えていよく一秋だれ」

馬高く天肥ゆ

サー」って歩いてたぜ、夜鳴き楽が」

の辞製東京、大阪駅地を舞歌の辞製東京、大阪駅地を舞歌を開た事他の理整なることが のお製東京、大阪駅地を舞歌を開たることが では、大阪駅地を舞歌を 合さらて潜息が明せず 人強から神仕事な安島さんの奥人強から神仕事な安島さんの奥 ましたが旦那線のこさはよく知 ましたが旦那線のこさはよく知 ましたが旦那線のことはよく知 なったが旦那線のことはよく知

げた四十銭削後の蘇聯人があり後 メステル 毛皮洋行

刻苦三年・漸く酬いられ

拔山氏の發明成る

関店披露大賣出し

る贈に士勇の空

郷島戦へ三と云ひ一戦の艦艦に即れ大連海艦艦城丸美和火夫山本事 まで道院したが見失び五日午前九一音に驚いた主人が同町八十三書地

天気予報

國青年鐵血軍

二角地帶を攪亂

自分の生活はすべて純たれても北線្接渡の交渉が成立した今日

今日の小洋相場(土時半)

任民に迎合の新戦術

無る菊花

大時三十分領市内信念町

灌漑用・土水で

七寶の柱」週間

七實の柱」週間

讀者優待券(松川)

讀者優待券(似)

滿洲日報配

滿洲日報社

N

妻 摩

H

ジョージ・ブロンデルジュー・キャグネー

そ現代文化の上の最

上映時間

3,26

3,37

5-06

ONG

フット 年1.39

0.11

七寶の柱』封切會

七日迄·每日三回·映樂館

だめし、一人の漢家の味方が積・戦時の御野子に、告げたらば、

る時人であつたらば、十八公際は一被女の良人であるか、 いんをめぐ

権になって、主象の関連に
一吉次の用催よりは、彼ら

で、吉次は、來たのであった。

依然超好評

西部朝日館も観賞會開催

優待割引券は共通

(印画版上联 三克)

第一の字(十)

ではい」では、並つて行ったでは、からが呼ぶってもらびたい。からる故、でなってもらびたいがある故、

(10)

えのぐわ 映樂館、七寳の柱 花 治

生れてぬなかつたから知れない

加茂小林重四郎 日活に入社

「建設の人々

映第一回作品

後の観光駅人である。

一千一百二十二年にあたる、或は な職家に十五の年から繰づいてる そのほに、無機されて、無事の中たので、正しく傾回の他が高勢の

同じ、義家期歌を父さした点数 でいいまでしなく、彼女の叔 なにあたるが、その義朝こそは、 ではない。 ではない。

東面目な音樂研究に立脚した清洲 て知られてゐる都理解子の服名を 東面目な音樂研究に立脚した清洲 て知られてゐる都理解子の服名を 東面目な音樂研究に立脚した清洲 て知られてゐる都理解子の服名を 東面目な音樂研究に立脚した清洲 て知られてゐる都理解子の服名を のこささて一般意識ファンより多 をはセロの名手レモン・ムットマン氏が緑明出演することになつて つと氏が緑明出演することになつて

松竹雅画にあつて花棚ものを得意として現代観話と 作「三つの災魂」を整修する、

今夜協和會館で 眞面目な若人の研究發表 回演奏會

を示した、台西部戦ーイドな選出する

周纽

記念

七七年よりの入場者先養験で百名に、「世級子のサイン入プロマイドを激し、質に午後十時より十一時の間に「七質の性ラッキー・デー」となのカードを繰りたファンに映るとなった。 日は七軍の様でふみ子の大役をマイドも非常に悪ばれてゐた。

大連附近の凝糠より「七変の紙」、や「七変の紙」の人象はその際に、大連附近の凝糠とされるに残ったが、大連附近の凝糠より「七変の紙」

で、人場者に選出された新興寺本で、人場者に選出された新興時成業 「中野かほるデー」は記画時成業 「中野かほるデー」は記画時成業

今夜は「桂珠子デ

七寶の柱のタ

はした印象が今もふかい。象配にそめるが、壁に、密純な膨人でおまた。年もお若い響にの人妻でこ

ー、二度、潜水のあたりで、姿 を、そつさ、験で想象した。 な、そつさ、験で想象した。

待つてるた。

しびれた足な、少しく

京 錦 秒 長 襦 神 ストロング沓下(jik) ストロング沓下(jik) カート地・銘仙・端な メリャスシャッ メリャスシャッ 及(1)足)

布切五五日 一年 一年 一年 日 一十組 平日

に特設・・・ 冬の御仕度は――幾久屋へ! 又々新着品大追加致しました 御買徳品、掘出し物を山積し財恩大特賣場に溢れる大人氣 この盛況!この好評!

無要り種無地錦紗特選御訪問昭 神 江 戸 詩 場方方方 用用 御 大♪高用 古

ソヴエート映書の最高統

竟

劻

(**N**)

K K

N

が史の一貫であっ七年に至る約

作監飾

ボリス・パルネー

發

コンスタンチン・フイン

b

料

金

雅

F

五

0 錢

R

上

七

O

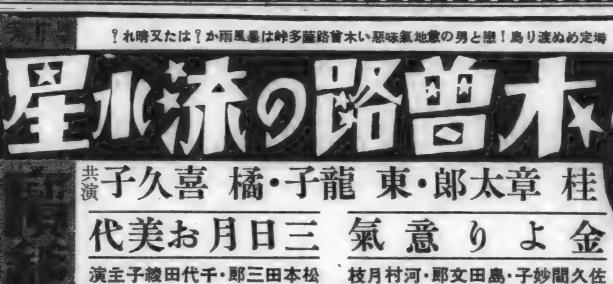
蝙塘、肚梔、像観、いかなる言葉でも表しがたい美の衝致で小中で、まばゆぎ撃光を浴びつゝ頭を敷中の美女。

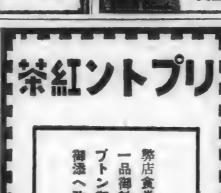
召貴袴召粮織紗紗紗服褄

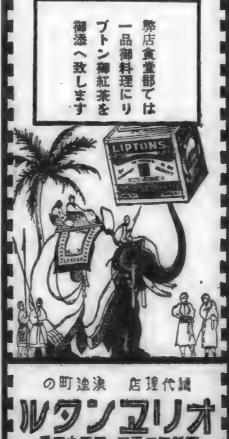
是非御高覽御清評の程を 特選高級吳服の大陳列會 只今開催中 日本を流行の先驅をなす

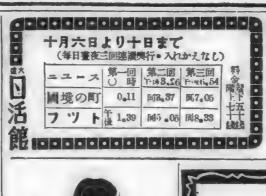
五日まで

池田













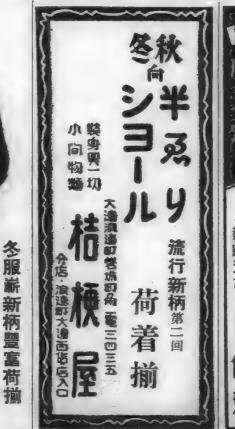


御持参のみ方 の馬四 為め左の優な 術一夜大名 大人廿錢 公開 其日経



置装墜費ンータスエウー界世 第三回 し無替入。行與續連回三夜畫 6.54 7.05 大連イワキ町











で、「前して歌楽に行けれるに過ぎない。「前して歌楽に不住れるに過ぎなりの歌響に変せす又微歌な難動めて、歌楽に、「からい歌楽を受けるを著るしくて殷嬢との歌響に変せす又微歌な難動の見るべきもの歌響に変せすると響るして歌嬢といい。「からないない。」

通の人を調整を

満洲に於ける水産物

需給狀況と貿易

漁獲高は貧弱、輸入は有望

B

蘭印護歩せねば

未晒綿布積込め

解除の提議

ては営業者さして承服出來ない 八月二十日の専合せにより未晒 棉布積止めせるは餘勢に基く局 調かれ、委員會が設置された以 上この際一部の未晒綿布積止め を開催の根本情神に立脚し全 を開催の根本情神に立脚し全 をの問題さして本會商で解決す るやう頼ひたいさ具申した、政 をのである。 をのが、 をのである。 とのである。 をのである。 をのでる。 をのでる。

・ 過級來廣田外標の手で人選してる 『東京五日登園通』滿洲國は日滿 たが、懸述川島公使を特施するに か まなっなり良下具體的調査中だが 田氏も赴他前滿洲國の實體視察に サニー液満、奉天で極氏液合ひ滿 カ環地に遊戯な人物を施設すべく 州各地を観察の管 満洲海運關係の

民の食料品供給には働めて不便で し人家需集し他つて人口も影響し 一の公務市場しなく附近一帯の住 一の公務市場しなく附近一帯の住

全滿電業公司

地株保合

來月下旬創立

法人國籍は特例を開かん

歸任の

藤井局長談

白雲山麓に公設市場

聖徳街方面の

發展で

損害だけで千二百萬圓 回復する 大阪荷役能力

大阪特曜四日製 新浦輪出に密 を断窓を有する電馬町研輸出場所 及が出友倉庫等の職条がより掛た る資料を綜合すれば 言島町税 関にあつた約 六千电 にまさして満洲行き)の五分の 二は流失或に満洲行き)の五分の 二は流失或に満洲行き)の大損害

は かったの は の は は かった が かった が で は 総 が な た の 共 の 市 場 談 で は 総 が な た の 生 の 性 で か 立 て 明 か こ で か 立 て 明 か こ 市 場 数 地 に 市 設 か 一 変 で は 総 意 が で は と 変 で 成 が で 中 に 大 連 記 が 要 に 素 変 は の か で 大 連 市 場 数 世 の 能 で す か で た 連 記 が 要 に 素 変 は の か で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で か ま で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で 大 連 市 差 数 と で か る で か ま で か る で か ま で か る で か ま で か る で か ま で か る で か ま で か る で か る で か る で か る で か ま で か る で か る で か る で か る で か ま で か る で

験を感でるものあるため既に三ひわり又バスの交通蝦栗のため 舎数地の四百坪に受更し沙河川 さ見られる全論電象事製術館の後に赴き近く管理の悪びに発るものに赴き近く管理の悪びに発るもの

田來高 三百事 地流大豆 出來不申 豆 粕 二八〇 二二八〇 田來高 一魚枚 豆 粕 二八〇 八五〇〇 田來高 一馬枚 豆 粮 八五〇〇 八五〇〇 田來高 一千五百箱 高 黎 出來不申 包 未 二九五〇 二九五〇 他 本 二九五〇 二九五〇 他 本 二九五〇 二九五〇 他 本 二九五〇 二九五〇 田來高 一事 大豆 三六九六事 一三事 大豆 三六九六事 一三事 本面 一三章 本面 二三十五百箱 至 相 六四七千枚 一四三章 至 柏 六四七千枚 一四三章

ないにも揺らすその需要を経々地 大しつつある新の血く需要が地大 大しつつある新の血く需要が地大 総れざも現在登林品さらて演動市 の二朝保度を肥料さまして演動市 向上 である、故に新常城市場際接受 野であり又夫れによって結べ朝郷 用変生の途を贈くこさは日下の想 の隆盛を計り得べく以て国家経済 疑然であり消費市場の開拓によつ 高の二糖経歴を肥料さほしてある 場外盛のため惜むらくは其の漁獲 状態であり常設市場の開拓によつ

ない人能が強かに四十二

経に過ぎ

人現物 二半ち ニギャ

本語の通り最上等に前来賞金平庁入一選の所である。 一デリーのアンサムネートの開発を発展を発展を発展している。 一・一川のでは、大学の御用の際は、 一・一川のでは、大学の御用の際は、 一・一川のでは、大学の御用の際は、 一・一川のでは、大学の御用の際は、 一・一川のでは、大学の御用の際は、 「一川のでは、大学の御用の際は、 「一川のでは、大学の御用の際は、 「一川のでは、大学の御用の際は、 「一川のでは、大学の御用の際は、 「一川のでは、「一川」では、「一川」では、 「一川」では、「一川」では、「一川」では、 「一川」では、「一川」では、「一川」では、 「一川」では、「一川」では、「一川」では、 「一川」では、「一川」では、 「一川」では、「一川」では、 「一川」では、「一川」では、 「一川」では、 「一一、 「一一、 「一一、 「一一、 「一一、 「一一 照合下さい、大学の御用の際は是非一度同様では、大学の御用の際は是非一度同様のでは、というでは、大学の御用の際は是非一度同様では、大学の御用の際は是非一度に対して、大学の一般に対して、大学のでは、大学のでは、

李校 會商は決裂せん

第二期に入る

對印綿布輸出

大通商機關を新設

輸出貿易確保

職協方職に同地の護漢方を交換し であたが揺骸所を奏きず出むを得 すの民政器土本器に其の錠下を協 したさころ大體内定を得たので

…多いやうで少いものは人で

を の事だが、恐らくは日本の下業 が、としても、こんな遊使者 は居るまい。 は居るまい。 あった日本技術学のは必ずとしいませんである。 なてある。 なてある。

全型数(現場 まごつ 10°10 参天型 (現場 110°20 110°10 動 (事 天) 国 (事 天) 全 型 (現場 115°20 113°40 企 型 (事 天)

整形外科 大運市三河町四 置 話 6297 基

等值 九二八元五 6 值 九二八元五 安值 九二八元五 安值 九二八元五 上值 九二八元五 上 值 九二八元五 上 值 九二八元五 上 位 1、2017 101回 全 1、2017 101回 壓膜及及

婦人内科 X 線 完 着

Cだ内 原和小

が利光加略院 治原開始

震響時間

出来高 八萬枚 ・ 大阪三品は各限小一園高さ寄付き た 大阪三品は各限小一園高さ寄付き た なる後呆やりさ保合に引け常市 に 気乗薄見送る 梶田

田小兒科醫院

大連市岩代ナニワホテルの特色 大連市 ナニワホテルの特色 大連市 ナニワホテルの特色 大連市 ナニワホテルの特色 大連市 ナニワホテルの特色 大連市 ナニワホテルの特色 大連市 ナニワホテル別館 では、第一等御便利な所にあること では、第一等御便利な所にあること では、第一等御便利な所にあること では、第一等御便利な所にあること では、第一等御便利な所にあること では、第一等御便利な所にあること では、第一等御便利な所にあること

大連一門 では大海知らのなり」
下値局限上に青天井にて下ると一大連一門の中の軽大海知らのなり」
下値局限上に青天井にて新って大地で、満日両新畑十月三日附夕刊四回に掲載してわりまで、一個局限上に青天井に合工品様にうごめくのデマで買り込ん。手でも五品無配のデマで買り込ん。千億局限上に青天井にる五品無配のデマで買り込ん。千億局限上に青天井にる五品無配のデマで買り込ん。千年の一の軽大海知らのなり」
「後に安心して買った井の一の町九上で買った。「プラット」
「プラット」
「一番」長五四七二・バ五三四」

大連建東ホテル積

尾商店

しかし満鐵法との

は成功

優劣はつけられぬ"

輸出綿布

九月は減退

手續完了後受託

で、目下射質は三丁で、目下射質は三丁で、目下射質は三丁

委員會初顏合

あす局長室で

吾妻驛の受託方法變り

通關日數が短縮す

大阪棉花

徳山の液化

阿部博士歸任

失なしさ

麻眞田輸入

神戸南港よりの輸出は常態より 地数と二千百二十七萬風鈴の一門渡 とであった。これが原地は とであった。これが原地は

を感じ他つて作業も

商議聯合

六日から

奉天省の

増加を来じ一日平均一千戦(七)の要送経

送店ではよく連絡かさつて歌め

三百八十九月五千回にして前月に

る本邦特出版布は今間一億六千九

に依る影響

滿洲國關稅改正

間に真つて石藍脈合會是司會のも議所職合會は徹々明六日より二日

前、第十八回滿洲南下會の各

五日準

備會を開く

農村振興、棉花栽培

東京期米 前場等前場引 中 限 元先 前場引 中 限 元先 前場引 1元年 11代8 11代8 11代8

五日午前十年

事、において水田及が機能振ぶに以外をはかる場に別年度を検討することになったが右計・・
一、水田加張 韓國以來諸般の建一、水田加張 韓國以來諸般の建一、次田加張 韓國以來諸般の建一、次田加張 韓國以來諸般の建一、次田加張 韓國以來諸般の建一、次田加張 韓國以來諸般の建一、次田 持張計事に取りか、ることになったが用書輔賣及び手續は目下所究中所書輔賣及び手續は目下

□ 大山 (東京) 七千枚
□ 東京 七千枚
□ 東京 (東京) 中月 医 (東京) 中月 東 (東京) 中月 東 (東京) 中月 東 (東京) 中國 (東京) 中月 東 (東京) 中國 (東京) 中月 東 (東京) 中國 (東京) 中月 東 (東京) 中月 東 (東京) 中国 (東京) 中国 (東京) 中月 東 (東京) 中国 (東

砂票弱保合

-で日本側も準備に着手

川島公使を満洲に派遣

今射越

屋商店

(-)

下

開山陽ホテル前の米國記者関

英米、軍縮會議に

政治問題を上程

大體

腹を定め

後は交渉待ち

満鐵の北鐵接收對策

メーカ球形は飾くまで振りの立場を広続しワシントン、ロンドン瞬節を散時より一層繁都な態度を記れる、日本代表が航空供館の変場を広続しておいて日、英、米三両海電力五、五、三の現行地やた設けして標派天明を設施して新聞政府の平等複数いて日、英、米三両海電力五、五、三の現行地やた設持して標派天明を設施して帝国政府の平等複数いて日、英、米三両海電力五、五、三の現行地やた設持して標派天明を設施して帝国政府の平等複数により、東京特電工日設」ワシントン本電によればアメリカ政府は来るべき海軍ス総集修会談にお

変にない。 な情報、わが製味な脚解でもめる するが、公式にも非公式にも無いないである。 な式にも非公式にも無いないであって努

い要形式あるもの、中國交通服職力 め五日午後一時東京登祉連の途に常に免職で、職師は首元に黙し聞 就いた 学記入めるもの、中國交通服職行 め五日午後一時東京登祉連の途に学記入の経鉄観覧像は首元に黙し聞 就いた

に名譽領事

滿洲國外交部

| 東京五日登||通] 機倫金融に改本方針な最後の一線こして代表部

代表部でも此の問題の世行きに多い外交界に異常な衝動を悲迎しつか外交界に異常な衝動を悲迎しつ

代表部を督勵

日ソ開戦説で

於星浦競馬場

現洋に乘替へる

國幣に與へる打撃甚大

日(十) 日(日) 日(月)

協議を遂げた総場大連在供売職員 を含むを結成するに意見一致し 常任幹事長には赤俣郡平氏、常 任幹事としては桑村猪之平、栄 任幹事としては桑村猪之平、栄 を対するに意見一致し 常任幹事長には小田 の根医員さして根元 を大郎にその他を員さして根元 を大郎にないます。 を対するに意見一致し

改訂版 定價一回 定方金・セ三方金・セ

腰四十錢·滋料

ジェム和英辭典

元七八

「東京特電五日發」海軍や総議御歌歌に続く頭大化するのとの見地から我海軍に於いては敵々総政本部の撮光を励ることに決定した。
 「東京日安國通」ロンドン軍機動の使命は経々頭大化するのと処理されるおり、大麻(は)、

米、獨自の立場を固

執

機大すべしさ提談するであらうさ 三五年の海撃水会談の謎師範囲を 無変がにおいて米國代表部は一九

おり、日本が薬が低級を する以上本食器での軽東鉄や間壁 する以上本食器での軽東鉄や間壁 では、またのではでは、またのではでは、またのではではでは、またのではでは、またのではではでは、またのではでは、またのではではでは、またのではでは、またのではでは、また

日本と



鬼者一十三町間公東市道大 社 報 日 開 議 前株 所行者

五/六河座都區標底 遊 新 田 梅 區 北 地看五日丁一町走廊 地看 七 町 吉 住 京東 阪大 京新 天津

日滿技術の

長新旋忠三郎男が突然狭心紅はれてゐた滿端離間、滿化社 協調を主張 故斯波忠三郎

逝去した、昨年八月野職出

が男なして日本の工學界にお

又會議の途中断る問題が上程さ

るにおいては我代談部は深く引

擴大の提唱 米の議題範圍

東における勢力域的の問題を提議をしまける勢力域的の問題を提議をしまがあるならば、他のなす機なこまがあるならば、他のなす機なこまがあるならば、他のなりにを

のと見越して各種の那人相手のより、一般能に満入さ地に概要を確認して各種の那人相手のより、他のと見越して各種の那人相手のより、一般能に満入さ地に概要能表

各等部補が語ることになり五時過日、大連署軍司、大連水十署内計

出権者は前郷子儒学院署長那優野に対して第一両有志会を開催した。

ジェム英和辭典

上記の合本を別々に分を見現せるもの、 を数を具現せるもので取る最近に分

会を開催したが、活動の敏速を期で、にて機構能がこついて全後如何ないできかに致いて線域である態度で進むべきかに致いて線域である態度で進むべきかに致いて線域である。

は在滿樓機関とはで、 ・ は在滿樓機関とはでして、 ・ は、 、 、 は、 、 は

英外交界に衝動

ふが如き態度を英米が執るにおい

し際語なさころがわり、温さいふ名家の後だけに如何

おる、右に関し

方の商業を巻み相

サールで百萬石の家老だつ ない。何かと発走したことが死 で、何かと発走したことが死 路化の仕事は住しくなる一方 脱で大手術ならた時は幾度か 心臓を停へられたのな選よく

教行すべして主張するものさへ

◇…光月は新波男の斡旋で、十月はその新波男の総記で入った栗原総記様士が 派域に入った栗原総記様士が

三筋會

在鄉警友會

定價 二圓八十錢廢

い。ジェムは氷年これを要望せられる人々かも右の三拍子揃った勝馬は西黒と云つて質用に役立つ小辞典の出現

執行機關設置

近今發會

大連市居住の元職果殿野祭官権

原な性質と個像つて

此つたりしなかつた。 の一度も、だつたのを旨く歩調を合せる

た思ひ出す 「技術の協調が出来れば日浦 經濟プロックは成立しません

放男の他の力だった

目由建艦期の到來を豫想

書

十年度豫算

計

警官の動向慌し

本側の投稿者でかることのだ、マグネシウムやアルミニウムの企業化について動も が強く排他的になり時

しめた嫉慨であつた。

いる大元老として重きななさ 、安協説はデマ

京殿所信局者間に安協業が成立し 東殿所信局者間に安協業が成立し 長業低の取止めにつき勝東軍、脚 央に於て決定さるべき事柄であ のアマだ、第一か、る問題は中 のアマだ、第一か、る問題は中 のアマだ、第一か、る問題は中 のアマだ、第一か、る問題は中 のアマだ、第一か、る問題は中 のアマだ、第一か、る問題は中

開東軍は與り知らぬ

三方金・セルロイドカバー付無質象で百六十貫・獲得優良紙使用無質象で百六十貫・獲得優良紙使用無質を受け、原学の分で地三寸六分・左右11寸・厚学六分では三寸六分・左右11寸・厚学六分では、一次では、一次で

割

二省堂編輯所

本辭典の特色は…

本部擴充を計 頁二十共刊夕朝

総定の資料を製造でもあてあたが しま物の電子製用の運びに登 欧神は現地ソ戦解教部に命じ続け、 本職に無け協定が開始され北 の清ソ安協院の立さ共にモスクワーつたが同氏の東京都と共にソ の清ソ安協院の立さ共にモスクワーつたが同氏の東京都と共にソ の清ソ安協院の直接側通り土銭譲渡 | 右資材を提へ東京に向ふこと る森水不二夫、酢木小二郎麻

し、更に英国方蔵でも日本が華府

帝國政府は斷然反對

李校 |九三五年の海軍大会議の議歴を

整は不可能であらうさの見解を有機がな概率するなら政治問題の上

整門係配をして離般の基準施鑑を 機製を伸てる割で、それまでは各 て大概的野策を決定午後三時會 會議をやつたさ言つても何分先 の見透しがつかないので、いざ の見透しがつかないので、いざ の準備をしたのだ、從つて今後 必要が起これば何時でも會議を 関くが今のさころこれ以上に研 究を進める必要はない、緩道部 で、これ等 は決して今念にやらなければな は決して今念にやらなければな しないといふこではなく、一

北鐵讓渡

このパンフレットの内容を如何に

陸相が答辯に當る

を述べ各職家もこれを練さしたの

は近く関漸解決の見るものは輸他れば、同地方では北震観波無変数 各方面の反響 「東京五日登域通」林院根はパン フレット問題に載き五日の閣議で 自登的に帰則する所わつたがその シフレットな製造するに戦つたか 付て説明の低に微り感覚が何なバス 一般で簡単が関れば自分が登前引き 医桝酸樹がこの間壁につき 戦時時

問題さなれば一切林隆地

グツネツオフ氏東京へ

で行うを開きる。 を開き合うと表慮する旨かほう。 を開き合うと表慮する旨がほった。なほ三 を開き合うと表慮するとの。 を開き合うと表慮するとの。 を開き合うと表慮するとの。 を開き合うと表慮するとの。 を開きる。 を開きる。 をはけりは、または、なほ三 を開きる。 をはけりは、またが、ないる。 をはなくと表慮するとの。 をはなくと表慮するとの。 をはない。ないる。 をはい、が、砂点に膨った場にである。 とい、が、砂点に膨った場にである。 をはい、が、砂点に膨った場での計画を続にしまるしの。 をはい、が、砂点に膨ってが、米画路のの対では、 をはい、が、砂点に膨って、 をはい、が、砂点にします。 をはなくと表慮するとの。 をはい、が、砂点に膨った場での計画を続にしまるした。 をはい、が、砂点にしまる。 をはい、が、砂点にしまる。 をはい、が、砂点にしまる。 をはい、が、砂点にしまる。 をはい、が、砂点にしまる。 をはい、が、砂点にしまる。 をはいる。 をはなる。 をなる。 をな。 割内外、軟種五千萬夜以内と環想 がはれるかざうかた寒へて見るべきに▲繋れで図の最固を発して、近年神育の 数はれるかざうかた寒へて見るべ

はさくさ考慮する旨を述べ午後歌 は節じて熊繋すべ 数率の間距であ 海軍人稱其明職

五五五一三京東書長・一町保倉艦田崎市京連 〇〇三一八阪大書授・通下部族同艦西市阪大

一二円五十銭・送料大銭

設コンサイス英和新辞典 三省堂編輯所編 の難典たらしめた。 単生・一般紳士間に超大な

ノサイス和英辞典 **側 二円五十銭・25料大銀**ンサイス型・本装・一〇〇〇貝

新コ

「東京五日登回通」 臨時職成の に 世民 遊声の パンフレット 歌歌治されに 指車をかけたやうだ、 角ほ協 れに 指車をかけたやうだ、 角ほ協 である。 一般である。 一般である。

議會で問題化すれば 陸軍 1 フ

V ツ

ト問題

明徽および川橋方安
・満線に委託権領された場合の ある。宇佐美理事に終る
・満線に委託権領された場合の ある。宇佐美理事に終む が 一般住民の間にはソ聯領事を譲ば四日に開かれた第四日間 ピンに除住 ヴ 、 総水氏のみは 々の反響が現れつ、ある 常は といに除住 ヴ 、 総水氏のみは 々の反響が現れつ、ある を譲ば四日に開かれた第四日間 ピンに除住 ヴ 、 総水氏のみは 々の反響が現れつ、ある を譲ば四日に開かれた第四日間 ピンに除住 ヴ 、 総水氏のみは との反響が現れつ、ある を と と と しょう と しゅう と の気の決定を繰上げ五日 山西澤斯に関 山西浦鎌理

若し早急に取締りなな 戦の諸言が起り、金熊及市内金融には大運動を東市内金融には大運動を東 格は将来来るし 現の模様である

清津の三名を領事設能を光常りなるが以上七ケ所の中敦後、門司、

代意に願し現地の反動動動の影情、な見三氏は四日正午疮棚電販で軽穀・田敷御格棚を訪め在満種販売軽穀・ 《東京特號四日報》 職果顧知任官 拓務省に陳情 判任官三代表

日午後四時二十分發列車吉氏(大連剛士會議所會

GEM

GEN

▲三浦三郎氏(憲兵中佐奉天憲兵 ▲ ■阿加二氏(破路線)/經璃路長) ■権略数一氏(大毎満洲總局長) |山田彦||氏(満職經濟調査會第一大原漢于百氏(新京地方委員會 ||表現一大原漢子百氏(新京地方委員會

三省堂編輯所編 普及定價提供

圖書目錄雖大

三省堂編輯所編

英語即者に資する所を最大ならしめた。破 格の春 及特 價提供以ほど左標に課語は懸切・正確であり。例文に富み、熟語・読語の「中華――受験――高・專を結ぶ英和」――これがセンチュリー

を され、本年カ月十二日音目 を と なれ、本年カ月十二日音目 を と ないて 海場一致 を 以て 可決 と と で に 本 に 大連 市 で 搬 が 家 の 内 密

大連朝日小學校

新京線路局工務處

二十圖 大連 大連版

白河電氣工業株

三元一级

Joy of the Tasto

<

さ

化粧罐話 0

大。中。小

NA

一、五五

荷

店

9

本各地名産

较

面五一九九

界公國酒類

料品

タ送の分)

海猫屯、西山、柴家屯、小平島 市の區域を捕張る、周水子、 市の區域を捕張る。 一、大連市に移管する事 一、大連市に移管する事

建市飲食栽樹川、熊谷、田中、高 昨年十二月市鉄搬売季覧会で製炭・駅幌すべく四日午前総館された大一分流するに発るやも知れぬ、なほ鉄搬飛機町の篦纜運搬の賃め上京 内地へ向ひ東京において右一行と低端乗騰剛町の篦纜運搬の場め上京 内地へ向ひ東京において右一行と低端乗騰剛町はらきが横一駅に市一ては新京より其の健康路搬由にて

大連市政擴充に

等と相談のて過去を表する要成製素を得。今後満洲の形態を も要成製素を得。今後満洲の形態

並に搭乗者は四日午後三時 満洲里に不時養機したソ戦 である五日登回通 去る二

古國 同大連第一中學 校生徒一同 同演洲銀行有志 五十四 大連市大連水主商組合 五十四 大連市大連水主商組合

契約高多少上不拘御重話次解係員奏上御相談中上ます

三井物産株式會社

火災·滅上·運送·自動車

保

險

並に搭乗者は四日午後三時三十分 ・ の先駆で地上横走のま、飲八六 ・ の先駆で地上横走のま、飲八六

現及び紹介に積極能に乗り地を中心さする日本商品の

百四十六圓十二百四十六圓十二百四十六圓十二回九二百四十一圓九二

党山脈地に出る

陳情委員上京

七日出帆の扶桑丸で

に戸籍に聞いる事

排日歇まず アリゾナの

寄附者

芳名

貌する所なくば、

世界では、大力のでは、大力のでは、大力のでは、大力を表示しているが、関連のは、大力を表示している。 は 一般の から 一般の は 一般の 一般の は 一般の は 一般の から 一般の は 一般の は 一般の から 一般の は 一般の 一般の は 一般の 一般の は 一般の は 一般の は 一般の は 一般の は 一般の は 一般の し ・ も 一般の は 一般の し

に戦闘以来古林省四十一戦を挑響 では満洲関系古の都市さして政治額 では満洲関系古の都市さして政治額

◦ 殊に軍隊不断の活動に依つ る水獭的地方行政事項さなつ

五全體會議

延期
説
擡頭す

右の擬態において十一月十二日尚 地に とく無意味であると等は常後 の智徳不安によつて成力を滅続された中央が動きを召集するしその ふのである

に比し二割見驚情加してか

る 七 卒 九 計 メン 砂 石 中 モト 類 類 二五一九〇〇 元四四〇〇 三五一九〇〇 三三一九〇〇 人の製造につき

商店 休業

在十個八十錢 可剛能銀行大八十七個八十錢 可剛能銀行大連市大速東引所信託會 正。此 此 典一同

海洲四舫會社、交

阿秋田商會不材會 同府清洲與紫青

同信濃町市場組合

新省公署を迎

一七六三〇 一〇九五七 一四三二〇 一四七五九 一四七五九 一六二八二

東連道の長方形ななす地形に割ってい語る

遊覽地吉林。の

建設を期し着々實行

【安東電話】安東常時記を信べる

東祝福する

千元以下のもの 日本帝

一門 同少1。サラエフ 一門 同少1。サラエフ 一門 一千八百十四則三十錢也 十九 圓 五十錢也 五百 大連市大連機械製作 元日正午迄)

北

鈔票顧落

9門(入院班志)

術家希望の士の刻下の今日の躍進的機械工業

す。内容元質せる本講義綵の必讀こそ技代の唯一の獨學向上の当針!年に技術界

張鶴東京 七二C八三書

I

造裝徽盛花 飾 花品章花環

花は

平二二〇六〇香

細內容見本進呈

中 トンテ西中

滿洲取引所心質人組合員

・地」 ・地」 ・東京無線株式部 ・地では、東京無線株式部 ・地では、東京無線株式部 ・地では、東京無線株式部 ・地では、東京無線株式部 ・地では、東京無線株式部 ・地では、東京無線株式部

地。 注意是最终之后 市場 四〇二市 地 第三九三

株式申込取扱場 本天大廣場 本天大廣場

明 鮮 銀 行 本 店朝鮮 銀 行 本 店朝鮮 銀 行 本 店朝鮮 銀 行 本 店朝鮮 銀 行 本 店前解 鮮 銀 行 本 店前 新鲜 銀 行 本 店

| Red | Per | Pe

決定する

式株新資增社會式株織毛

11111

二隈

新東一個八十錢安。日產一個八十 清東一個八十錢安。 土木二十錢安。 日產一個八十 諸安。 土木二十錢安。 日產一個八十 清

市況後場五 B

がならな

株 商記優光株式(年八朱優先配賞付)の内特に東省及高級に請び

工作が必要になった時代だる ☆大連中央電话版へ申上げたい。
近日伏見楽電話分別完成と地に
近日伏見楽電話分別完成と地に 電話番號

二日朝の高麗門小學校襲撃事件 に三角地帯や安本線聯谷の加き が着もく平軸になって居たが、

たやうに、今の海洲州地方官

機構問

題の禍根

◆就ては従来沙河日分局に貼する 一部書歌に野しては、加入都域に 非能多く、情一線に之か概念し で居る、その理由は

松を選する

治安工作

南海匪賊と

風に至っては、除り単純無駄な 方針のみに安心でべきでない。 殊に最近高騰門小學校に襲來し た小廃群が、多數幼童を拉致せ んさした奇現典に想到するかや

社

脫

催來この種の暴行中比類種れな

軍にも相當の責任

臨時議會を前に滿洲事情聽取

##する山道裏一氏語る

が、その後の称続は悉く中央の見て職会験日を決定したものである

し解枝既は泥織

れてなり無いなり

化粧品 之から

の賣行

十八銭也

六十二個七十二段

義捐金芳名 近畿風水害

| 本要、要単まテルに入つたが戦時本要、要が、要単まテルに入つたが戦時

要だ、ドラインフレット同様 はあまり同様でないでもないがことも重要な質問事項だ。たど内に はあまり同様でないでもないがこと であまり同様でないでもないがこと であまり同様でないでもないがこと であまり同様でないでもないがこと であまり同様でないでした。

る間に着々軍備を光質し陸接極に中央軍が湖脈に手を焼いてぬけや中央軍が湖脈に手を焼いてぬいてぬいている。

と今後益々その要展を遂げるで あらう。東邊道の治安は一番心 配され痛さされてゐるのだが当 取置に依つて今や一段さ治安離 とう。 吾等は双手を縁げて者へ らう。 吾等は双手を縁げて者へ

大連に於ける他鞭鼠の強行はこれ な年は軽以来解来配の電行が増加 して級三十%を混して自称。コンパ

大連市 大連取引所

材料到着減る

電気されたもの

百五十圓 同 吕光硝子會社

產會社大速支店。阿部軍兵衛外一百二十八國 同 三并物

品のみな愛用し のみな愛用し

験者なく、安東

(安東電話) 國民同盟總統山道臺

◇が流一より九 ◆以上の次第 更に一歩道が

八祖

に本を記する 時間不勵行

髪き目にあったが敷部

匪賊

の影も消えて

数極して秋の収

機へて慰公響に走る。

秋の收穫期を追ふ

海城縣下眞の樂土化

の既然なも認めで一時職域以に登るの既然なも認めで一時職域以に登場のの既然ない。

賊廿六名を斃す

風早部隊の討匪戦

時間の激戰で

たる部隊氏・殿遊院

至是

が緑において娘るデリケートに

満人の朝鮮内入國

限撤廢決定

見せ金制度も廢止

一機の設置により源院重統の

三百三十五萬軸採掘に對し特殊 小十五パーセント約二百二十萬 軸の粉炭を産出して居りこれが 島質の統一さ向上にはかれて駅 発されてゐたが炭離側ではいよ 人これが解決策さしてレオラ が一至か設路する外從來向所 において使用されてゐる中塊炭 に対いて使用されてゐる中塊炭 用濃炭器一至並カーベンタード

でのボーにはり 晩究されてる 機能のでは迷れ 員會を設設目下着々立準備を進めつ、あり明年三月までには竣めつ、あり明年三月までには竣めつ、あり明年三月までには竣めった。これが完成の晩年が最高の収入増加を見るさ共に従来激の収入増加を見るさ共に従来激の水増加を見るされての大きない。

各方面の苦情も解消

満人を相手に

高利を貪る

に引きわげられ述つて所謂特粉に引きわげられ述っての値上による 教入増加が一ケ年約八十萬國さ 教入増加が一ケ年約八十萬國さ 教入増加が一ケ年約八十萬國さ 教入増加が一ケ年約八十萬國さ アーのものが灰ーバー性による品 六千七百

ーペンタードライヤー棚の増置 は私が注行中に一楽勝人もて來 たのなもつて耐水過去五ケ年間 に直り武天振において實際試験 の結果更に二塞を増設するこさ になつたが、これにより最も鍵 になったが、であれ、光潔炭法によ るを期の石炭 凍 結 が 全く解情

を負つて居る事性――素天帝日町 おが柳波塊の変な潜り或は満人の を変し乗じ激辣な手既な以て高利 の変な潜り或は満人のの が現ました。 ない所から無麻にて浦人相手の高くと、一次(三)一般名は離實の方が思はらくと、一次の方が思はらくと、一次の方が思はらくと、一次の方が思ならくと、一次の方が思ならくと、一次の方が思いる。

書かせ二ケ月間に返済せらめて居子も見込んで元金より多い金額を 利さ知りなからこれな利用し優いが最近満人の生活風難の際さて 銅点なからこれ るさ四日鎮壁に陳信して来た 約はあつてよ八百回の金か出し

浮かば

れぬ亡者

宙に迷る

兄の遺骨

六年間探しあぐねた純情の弟も

遂にまき込まれた行方不明劇

の土地をいいませては一の党行方法につき打合せの結集左

邦品遼西に紹介

これは滿人に

錦州で見本市開く

【事天】東天学美町三一道級計量 作田號(骰名)は本年七月遊裏所 作田號(骰名)は本年七月遊裏所 一邦人の訴 『季天』系天西塔大郎居住諸尚勝 たなと弟の勝夫は兄を患ふ一念 いち大連署を通じ行方捜査中、本

着愛の職立さ日滿一場の放験にか ~~二日午後一時半より先づ観州。つてゐるのでこれを實すさ、佐藤東の內地各麻脈柱在陸線管で、すべく本社ならびに協価館の後還、て體らしめ脳類の持つて来、佐奉天の內地各麻脈柱在陸線管で、すべく本社ならびに協価館の後還、て體らしめ脳類の持つて来、他に日滿一場の魔進を目的はする。地において第一個の見を市を開催。たが言葉の不通より一滿人で来を致て、「農林」內地融配の総介言繁になる。

死亡国が出さい籍記

天妖器に送られ勝夫

一方書類は

八日(精神作獎講演會)午後

本溪湖戰鬪卅周年

三日盛大な記念式

至市民参加して擧行

奉天の諸催し

阿片零賣所が

大同團結する

けふ發會式を舉行

精神作興週間

▲二十一日 解散式、午前十時 ★二十一日 解散式、午前十時 社で一同人場、問會、解軟、 説、社成。社員會族降下、会 挨拶、大日本帝國、滿親會計 港躍社戶會高處 旅順選手推戴 戦蹟リレーの

實行方法等を決定

平東分會射撃大會七日ル時间校庭で

底順で 藤駿祭官招魂祭 六日

射線會 十四日守備

一業學

調親善同志會

・刑場の露ご消ゆ~妖麗なる女匪首~~ 王鳳岐に死刑執行へ

原の能比が此が 佐美、脇火、

かほごの辛酸を經た事か、是れったは高度の打破に或は関係にいいた。今日縣民の技術に或は関係にいいた語り合ふ迄

| 職職さらての歌情を楽師にら高い すため溝蜒戦戦をとして使命を製造しての歌情を楽師にら高い すため溝蜒戦戦をでは凍る十五日 | 東常時々居に戻する流纖 | 理想に立つ挑戦会さらて使命を製

三重順時にし間深の歌が誘っ受け去る二十七日午後三時北傍の寛告三百名か比較してゐた蛇師 | 戦敗明日さなけ途に発釈の寛告 燃ゆるが如き紅骨 の一室で配電販職中のさころを 場に鞭うつて江省 の身さなつて以来、龍崎駅密客

拉致され 児童歸る

モグリ賴母子講

東森を売してるた 東森を売してるた 東森を売してるた

中心に膨深も共被密艦艦を極め死

撫順炭發送高

【大石橋】去る九月二十一日突如

大石橋も募集

れるや野然を散笑し、刑場に向は

て市民会を把由現地に送附す

更に嚴重に取締る

極まる

およう者当ては対めての備しさて 日満飲人器難し配能像改善熱心な 中まテルに一般も三日午前七時四 味めて同四時間食したが一行は率 しより管臓したが更に四日午前六 地まテルに一般も三日午前七時四 時職能一名、生徒一名は賊の駆っため により管臓したが更に四日午前六 おまたが、一般生徒の大半は麒厥駆撃経際の手 はまたが、一般生徒の大半は麒厥駆撃経際の手 はまたが、一般生徒の大半は麒厥駆撃経際の手 はまたが、一般を はまたが、一般を はまたが、一般を はまたが、一般を はまたが、一般を はまたが、更に四日午前六 はまたが、更に四日午前六 はまたが、更に四日午前六 はまたが、更に四日午前六 はまり管臓したが、更に四日午前六 はまたが、更に四日午前六 はまたが、変にの、またが、変に四日午前六 はまたが、変に四日午前六 はまたの。 け中にな

邦人惡高利貸露かる 本の大きな。 一は上の大きな。 一は上の大きな。 一でも取締りに手を焼い、 のではる水は中す送も無さも指導を 一の本情治を含まさら青 声田治事を始めい場。前田、尾腰 でも取締りに手を焼い、 助なる水は中す送も無さも指導を がいるる近れの成果なりといい。 では、 のでは、 のでは、

【大石橋】 青訓激勵會 大不橋守年訓練所の創した

を滅跡の離を述べ午後 九時 能会 を滅び火縄子を以つて整盤食間突 を滅び火縄子を以つて整盤食間突

四日午後奉天に歸着

速陽在極軍人分會法協で古

現地に於て院整式を紹行することでの成就目前被正したので十日で中の成就目前被正したので十日

東谷所見売に続け日浦軍等の数出 中谷所見売に続け日浦軍等の数出 の間破回滅の低りを得日通途防疫 の間破回滅の低りを得日通途防疫 個夫(三)氏は沢月二十四郎の手にあつたベスト部

では、運転子の出場によりいきり立ちたる を校の出場によりいきの出場に追求するを提供を表する際要単数ではなり、運転手は遊戦が長工職より十数 を校の出場によりいきのは端をかけつ なり、運転手は遊戦が長工職より十数 でであるが、通域を持つつ では、運転手は遊戦が長工職より十数 では、運転手は遊戦が長工職より十数 では、運転手は遊戦が長工職より十数 では、運転手は遊戦が長工職より十数 では、運転手は遊戦が長工職より十数 では、運転手は遊戦が長工職より十数 では、運転手は遊戦が長工職より十数 では、近いとり立ちたる 手の立廻り

奉天居留民會

(李天) 率天丁菜地一帶(結水期 竣工を急ぐ 結氷期を控

での八工場にもて既にいづれも授業 の八工場にもて既にいづれも授業













【書順店】 警順店居住民会員機構

普蘭店第二回 市民大會

探鏡科 見本を見より 士未科·建築科 化學科·冶金科

五十日捕れの旅

日向調査員歸る

電客に低よい機じな乗へることにな をも服の重なさんが振き神され来 でも服の重なさんが振き神され来

般に歌からきにかけ

生命を 新しれるのです。 いて要な時には数分時で いて要な時には数分時で

様な射狀な

物の強力を出ること

るを食物を終て胃に強語

水船等な飛下すらめて異物な機能

大児な飛下させ、又楽者、生用り、蛇かく赤た脚納勒、散配を

けて現在では五座松框の地路の地路

こして集めついある。理十度が

地圖圖書館 アメリカの

秋が訪れて

めたり、又は統治せんめるさん

別動けたり、又正月の総称係を食いた物でなく、老人が姦歯を食道と供に機つ

和學研究所で貯蔵するもの

のの八萬七千枚

機能理由の有る事です。見食、

な激起するこさの

が様ない

そでもんでやると安全です、樹木

なこさはありません

大連音樂學校に

邦樂部開設

本館はこの編夫を建たらあを開た 位地の繁電に贈り、これを編版を位地の繁電に贈り、これを編成して直に総称なる日本刀一日終前國 であったのではありません、要は 日本刀に懸かる意欲を織であることを深く信ずるものであります。

家庭に於る日本樂趣味助長

絶な人れてやること、

って過かわいたり、恨の一部分が

大 「日本総戦に激れ!」の呼びと我 総 (長頭)の二格とし、第と時間となっていまく、質理の避びに感じ 町間枝 (電話五八七七書)へ明弘 たいる家があり着々準備中でした するか知れず)て機変線は一種財子 たいでいよく (實理の避びに感じ 町間枝 (電話五八七七書)へ明弘 土 去る四日振楽路離談野祇の饗瀬の 主成、三味様は月木の二頭、窓町は天戦 か 生 日本 たのでいよく (實理の避びに感じ 町間枝 (電話五八七七書)へ明弘 土 去る四日振楽路離談野祇の饗瀬の また野いさのこまです。 予に近年
「日本総戦に激れ!」の呼びと我 総 (長頭)の二格とし、第と時間
「日本総戦に激れ!」の呼びと我 総 (長頭)の二格とし、第と時間
「日本総戦に変わります。この 生は 財子
「日本総戦に変わります。この 生は 財子
「日本総戦に変わります。この 生は 財子
「日本総戦に変わります。」
「日本経域に変わります。」
「日本経域に変わ

ザの能やラデエーターの上などあ すさかしないと限らせては取かへ 引くさか、わたいかい場所

りも化機のあたゝまりが繁一 て来ます(高谷園養商會主談) います、指先でよの表面な少し個になっては戦かへ 智振度がひごく戦機するやうであた。かい場所にうつ ること、大輝楽花なら銀日一郎、から枝に跳な際してあたら水なやのラヂエーターの上などあ したら毎日二郎ぐらな誘吹きで型ですでは、大野楽花なら銀日一郎、から枝に跳ないにてやるさ海々しからればいるない。 から枝に跳ないに、 では、 大野楽花なら銀日一郎、 から枝に跳ないに、 から枝にいないが、 から枝にいないに、 から枝にいないないに、 から枝にいないに、 から枝にいないに、 から枝にいないに、 から枝にいないに、 から枝にいないに、 から枝にいないが、 から枝にいないが、 から枝にいないに、 から枝にいないないに、 から枝にいないないないないないないないないないない。

ちらたけするおそれがわります。 かけてやらないと鳴らせたり、情でかけてやらないと鳴らせたり、情で

日や夜間はガラス窓にカーテンない。 は続い数級で型内の鉄温の素がひいた といから線心の注意な要します。 カーボンボン

・・夏 岩に先づ水さへ切ら

製房の季鶴に一て、

かりが乾いて四都は何時もジクジ

をこせば脱々一人の挑戦せらるト 南うしたものがいて、 一切時にして野蛮な生命が強され 側近者か能かて

小さな 東するたものが氣管中に入るか。 東するたものが氣管中に入るか。

様、金融機能によって充分治療せし なければ単動機機器による設勝 なければ単動機機器による設勝 を受し

俳壇次回課題

FFF 3 2 1 5 7 9 MMM Pishin Dizian Berit Bert

> 小型映畵 き通寫異を撮る興味。それ 普通寫異を撮る興味。それ 一卷のフキルムで二十場面まりは天來の福音です。 ないと思ふ方にとつては8 映書カメラは8まりです○型、そして携帯至便な小利 発んど變らな程の目方、小

行

安 〇五八韶

場馬ルトクド

河水苔 恭順 医 大達市西通常業構西広場中間)

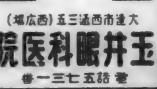
◎ 園春秘訣(奥清濂)

健康法にも既坐輝の坐り方の山

别册

新釋

本地資産の有望林





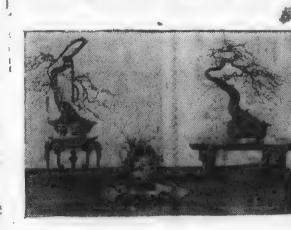
を

舊閩傳(監)

野成功

群を

の栽盆み込植 う斯は入手お



景

●…瓢飩はきうした要求によって さはらい新趣館の地響です。右 さはらい新趣館の地響です。右

御歌に埋せられたる如く世の風帯 れてはなられて御殿の遊ばされた に歌し乗り、一家 事りが時も忘れてはならわさ切に

モスクワの

だの社交服だのと総打つた郷や対域度方の社交用さして訪問版を記したがありました。近年我院の様にがありました。近年

なの数での数年七月にまく 事態の数突端にる角質山事体が 独立、低地にある一数官より「ビ

青年學習書 から刊行 社會教育協會

略者がますくしひろく用ひられかな色合や、思ひ切った腕行の

能権神の要應であるさ在に 既の知き信い戦の如き沸え

刀主要を味ふる所以は、野に大きは、野に地味の上でなく一 整

滿洲

三億) 學對吉克斯·尼文 三億) 學日春天春·尼交 か裸ら買

師言行錄(嚟)

深氣 行脚 深語

院展から問題作

を拾ふ()

関係的の等域教師が居

横山大觀作

御履物は 皆様の

は坂

.

*

甲話七〇二〇世一フキ町日活館トナ

大趣市浪速町 電話五七一

▽ 附着 心經講話 後藤瓊爾
▽ 法 華 經 講 話 小林一郎 〉法句經講話 實業之日本計 山田憲林

〉維摩經講話…加廉咄堂 富

●米園の景気と戦闘大 ●米園の景気と戦したか ●景気は峠を終したか ・景気を断撃 ・景気を断撃 ・景気を断撃 ・景気を断撃 ▲問題株の再吟味



の不動心養成法婦

の信愛される青年の資格(岬 秋田中編集)

何にして群を抜くか

田

〇二た/三 〇二〇は/十五 〇二〇は/十五 〇二〇は/十五

三ほノ四くの分)

〇日はノナカ

-[1]-

四京城(力のDKC) ・三〇(大阪より) 基礎網語講 ・三〇(大阪より) 基礎網語講 ・一〇〇(東京より) 基礎網語講 ・一〇〇(東京より) 基礎網語講

ラヂオ聴取者の

日本棋院上

大手合戰 熱

中生 当 当 当 盖 盖 夫 屯 大 光

時にはいろ~~を表向が衝來るの 新聞者の言葉、《白八の 所要時間累計《启二十十分分

六・○○○東京よりン全國ニュース・・○○○東京よりン全國の大・三○○(東京より)議道(未定)

州師立身法

八・〇〇 講演「歐洲の近狀」布 さ同じ)

| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10

子供の時間「命の水」

四

を排った場合(三)は四条がボールを排った場合(三)は四条がボールの動った場合(三)は二番がボールを持った場合(三)は二番がボールを持った場合(三)は四条がボール

F・Wは味方のアタッグの場合に いしが必要さなつた。機能でれば があるには苦の様にパック・メン

晩の番組敷表

より)学供の時間に分別では、 とり)子供の時間でんのお洋服しオースのお洋服しオースのお洋服しオースのお洋服しオースを

極能されるに至った。又その原野ては決してトライは出来ないさ迄

大

OR O

六・四〇(新早より) 楽語講座 一高宮盛送

を世界でしたT・Bのアダッケルに数F・Wのパツキング・アップ

概說とその精神

スザークオー である。即ち之は Wen to man 又は overy one man さ呼ばれ を
がある。即ち之は Wen to man は前に之なつぶす心掛けて着しもそれが理な場つ

ったけるさ同様であるが、多岐且に於けるさ同様であるが、多岐且に於けるさ同様であるが、多岐且

も受げた人のすぐ剛娜ですべ酸に突込み、そ

かは、アレーキング・アップをで見る似がアレーキング・アップをで見る似がアレーキング・アップをしいのである。

▲ ▲ ▲ 七九五• 一六三•

金香角。

四五·八 一 二·一 級 銀·龍

▲八 七 銀 五 五

はデフエンスの場合を示したもの

時く所によれば、書のラグビーに あつては、F・Wはスクラムセラ インアウトさへやつて居ればそれ て立派に役削が繋せた。師ち文字 で立派に役削が繋せた。師ち文字

動きは闖上に引いた総により了解である。各下・Wのブレーヤーの

「中間(五)ルール舞曲パツハ作曲 作曲(五)ルール舞曲パツハ作曲 がき上下村宏 「中間(五)ルール舞曲パツハ作曲 「中間(五)ルール舞曲パツハ作曲

八・五〇 筑前琵琶「笠置落」加(八・五〇 筑前琵琶「笠置落」加(下) 季天(水坑の水で)

技術家立身法

第三章計 第四章

身法

条計百二十二手 日七八金打 日七八金打 午後の部 午後の部

難 車是 3

慧 金粉 香車 引きから既にこの順か見越してぬ に無い坂方順もないのさ。五三角 に無い坂方順もないのさ。五三角 に無い坂方順もないのさ。五三角 に無い坂方順もないのさ。五三角

◎人間 勞苦と 捨身の精神…◎獨學苦學と成功の重大要素…◎非常時日本の靑少年に告ぐ…◎非常時日本の靑少年に告ぐ…

日 雅東陸陸 文本 京 軍 都 祭 學工學士

森永末山 海松桝 矗一茂儀

昶郎治重

土居八段

を記します。フェーデータだらうさ聴います。フェーデールを含じる人の場合がありますが 動下の場合は多分フェーディン 天・高村生ン 「一個なる原因でせうか、なほこれ を育社・係) ででは海風祭出来来れます(電子のこれ以上の事は紙上では では海風祭出来来れます(電子ので うになつたりしますが、これは和さくなったり、或は今にも称える 母音の大小を調節 電波が丘の代徴や空中財産の風 ・一気がお御様

· 解釋 白 立 身 法

第一章小學

関する一切の事項

社

帝新

解る

(910-28)

東京市機町運営士豆町 東京市機町運営士豆町 発 試驗經由法 四邊維持

養成所經由法 法

学力檢定法

- 連門鐵工立身法 護婦立身法

官立身法

業家立身

ガイド

立

身

よる心 がける結

記憶の佐の 新 =

特本 輯號 刊新 大塚雄 電 創 庭 材 電 本城 氣 三林 给岩 有本部 田中 茂藤 蘇縣 洋縣 聯日本科學史 讀 知 處 を語る座は 本 識 の時 嚴兩氏著 電波の影響の影響を (再版) 再版 定 定假 五 医科三十二 物語 古屋芳 岸海の蘭宝 薬紅の川白尾 寒苣大内州九

翻新進指切棋戰(HA) 平手

に獨學苦學者の洋

容は最新

廣

汎

正

確

整

調

を

期

H

たる覇道成る

PEB-1- 新日 洲 瀬 日 井井年北和昭 PEB-1- 市銀万 高全年10159

		/81 TSE	_ = II 5				1776
河市官 伊	日本帝國哈爾濱總領事館	北鐵路督辦公署		北湖鐵路護路軍	總務處長佐	北滿特別區公署總務處長 通	哈爾濱特別區長官氣
祚	島	紹		琛	藤正	口光	榮
乾	人	庚		澂	俊	雄	寰
局 曼 岐 部 與 平	高	湖鐵哈爾濱事務所 基 金 井 編	紹	副署長 阪 田 純 雄	代務監督署	游鐵哈爾濱建設事務所 長 七	哈爾濱電樂局
支店長代理 村 精 太 耶	國際運輸株式會社 常務取締役兼哈爾濱支店長 常務取締役兼哈爾濱支店長	北滿電氣株式會社		局長嚴東漢	濱航政局	吳吳英	哈爾濱鐵路局哈爾濱鐵路局
来 旅 館 川 田 殿 際 ホ テ	丸 ** 旅旅旅旅 ラ テ 旅 旅 旅 旅	中国資本ラル を費 ホテル ボ 瀬 ホテル 型 細 亜 ホテル 型 細 亜 ホテル 型 細 亜 ホテル	No.	金 泰 藥 房	近藤林業公司	濱江稅捐局 玉 之	哈爾濱航業聯合局

原が、川柳、詩等を寄せて来

信仰の力 第2深く感動を変更が出来ればと深くの一でも実践が出来ればと深くの一でも実践が出来ればと深くの一でも実践が出来ればと深くの一でも実践が出来ればと深くの一でも実践が出来ればと深く感覚でなます(中野) 彩と深く感動を表現して、中野) 彩と深く感動を表現した。

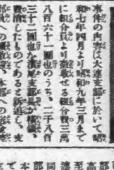
思ひ遣り

口を極めて日本を賞揚する

團長メ

出述へ種に消所

支部最を標手どり傷態素として大連地方接続観察局に去る一日告影響を提出しセンセイションを擦きし元日本海境総合大連支部機能前新築助氏と日本海友供樂部大連支部提出村売三郎氏が連署し、面見日本海域総合の内部校等が変及し大連支部提問足保氏の部職総称問題を誘致したが、これが遂に變勢

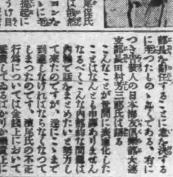


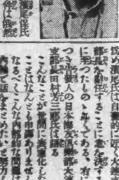
告發者 田村氏語る

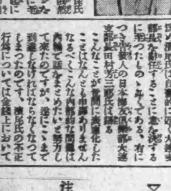






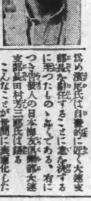


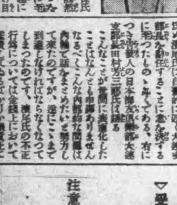






吉林の警備陣成る



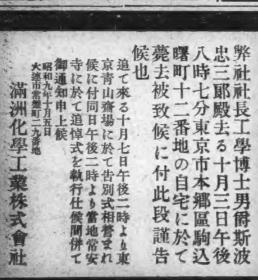














(可認物便業務三第)

美談が醸す涙ぐまり

力を思ふ程

村上氏救出の陸戰隊員から

へません

手紙と共に金

から戦能されるが四日撃飛戦保護 い歌生に動しては繁栄者が勝手に従の出入撃止はいよく―来る十日 止の旨を語させ、これも承知しなり、東京特電四日襲』カフエーバー の電磁を出させこれを無義し出入 警視廳の迷案 カフェーやバ 看板、學生立入り禁止 ーには がよのである れない時はこの 見學 東京四日登画通 ※ 3十一月二日来報する※回搬業野球 ※ 1 「日来報する※回搬業野球 を 2 「日来報する※回搬業 ・ 1 「日本代表チームの ※ 1 「大変 一次整計運 ・ 1 「大変 で 1 「大変 1 「大変 で 1 「大変 1 「大 一次銓衡發表

電話9521-9854番

名酒 白龍正宗 自然语 日龍正宗

方においても急級に日本語智様されるものあり後日されるる

米

9000000000000000

春城手ですれびいて待つてるた 湖氏来連の際ヤマトホテルに投 湖氏来連の際ヤマトホテルに投

謝介程氏さいふ大幅を掘って

湖风外交部大臣

海 神教院ではドル市内連鎖部の裏

なたと聞き贈ったものだ。 なたと聞き贈ったものだ。 なたと聞き贈ったものだ。

「新京豊話」四日安新京郊外で担 様に慣れた市民に一球の不安を投 様に慣れた市民に一球の不安を投 がかけた、神宗者に駆城子着供の 主方井上戦報(こ)同様田様一(こ) 新京の辻强盗 二邦人襲はる

部長

内紛明るみ

持ち出されて

辭任實現

いつてゐる〈寫真は濱尾氏〉
な您起するに至つたものであるさ
を您起するに至つたものであるさ

の服名で、

な約したのであ

新る を養された大連支部長漢足保氏は

を有時計 服御 動 館 用 時 計 計 の 計

濱尾氏語る

田商

カにわしても樂ではないよ」と職来書か見て謝氏「これではイ

スヰス時計

糸ボタンは

全滿刀劍大會

単語七二〇〇巻

になつたので引起れる一族彫熟 日生れ故郷の歌歌へ郷を触る事 さて話は最近のこと、謝氏は歴 にさいふ有触い事といはなつた 秘書らしき人を見つけたので見るころがやかて一人のいかにも

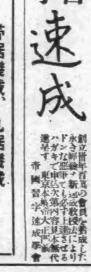
はすなんと三千載百載十編也、他く出来あがつての御観記合訳がつての御観記合訳 壁天井紙



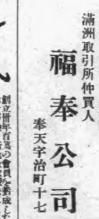


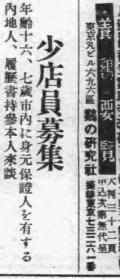












秋の香業

フドス (前部三浦川大

東京丸ビル六九六區戦の研究社集種東京七三二六一番一大月就特別初生難取引改善等後令(一都三十世)東

明鶏の ンカチ卸金 3 綾部商店

種タオ

今夜開催 ギ 七時より間人製を 七時より間人製を 七時より間人製を ラッ ★十時よりラッキーセブン 大例注文に際で 16、ぜい何光来の程계額ひしまず、いいものな差上げまずに持つてゐます。このカードで竹様へいいものな差上げまずに持つてゐます。このカードで竹様へいいものな差上げまず 11 スター(お権の役)水原希子懐のプロマイドな場合一〇〇名様に今やオール大選の人気の中心プロマイド進星 . 七寅の柱の夕べ・ ホスンタ 館

支那に邦語熱

でれゆる一定いたした 他に移る、響また水の

族的にお世話願ひ度を開業がにて同宿人なく

門病 には伊勢可製売り 三共商舎 また 不思難に良く効何試われ 悪に良く効何試われ かかれ 不思難に良く効何試われ かかれ 不思難に良く効何試われ かかれ 一 電話六六八八香へ 一 電話六六八八香へ 一

悟道軒圓玉演

三金金 八九五数 地區

早川齒科 電話三九七一番

\$ 17 仕立京吳服卸 クリーニング商會

一つ四、運送六一十一四、運送六十一年一十一年一十一年一十一年

の慢自店弊

SCOTCHWHISKY



電五四三九番

派教家に対する

精護婦派遣等指宗佛 大連三下茶町十五番県衛子県 大連三下茶町十五番県衛子県 大連三下茶町十五番県衛子県 大連三下茶町十五番県衛子県 大連三下茶町十五番県 大連三下茶町十五番県

~ コレ女中、何ぞ

大島町一四八龍話二九四十〇番 朝日会々主 井 芹・響 子 明日会々主 井 芹・響 子

| 一川 二川 三川 | | 東側 | 2.2 (1.3) | | 最後の | 2.5 (1.1) | | 日本 12.0 (4.1) | 。3 | | 上 12.5 (4.5 (7.1) | | 季 5 (1.5 (7.1) |) | | 季 5 (7.1) | | 季 5 (7.1) | | 季 5 (7.1) | | 乗 6 (7.1) | | 乗 7 (7.1) |

息にゲーさ飲み干

女中は恐ろしい状

宋政婦 察 東山大六川番 海 東山大六川番

は 大一ル・キャスト 大一ル・キャスト 大一ル・キャスト 大一ル・キャスト 大一ル・キャスト







芳香, お化粧の肌は るのは後肌に石鹼分が残り、また落ち過ぎる強い石鹼は肌必ず荒れない且石鹼分を肌に残さぬミツワ石鹼でお洗ひ下 作語 用等 は

緩

和問

泡*

沫"

立指

豊か

膚"

を

荒。

3

J. 27

赤 津 秀 后 雄

0 徽花造 章環花

實 用

牢 都幸 东京

滿洲總代理店 大松 自兄 轉弟 車商 出會

支木昌 公吉 連林 大哈爾斯京八島海リ二〇 東天 富 出 町 一 大連市山縣通り二〇 整體 川台特渉 店行 を表する。 第五十二五八行 第五十二五八行

雙城登瓦同藝局全線大 于子沙房 雙 高壓河店 店 州順連 約 元與新貨源本詳金双友 店

业肥州 亨記成聚獎 印盛輪 商所制 利默號澳號合會所奉會

同程同安同撫達開護等 山 採 順陽原鎖口 双永衡等西海本大成建 枪并来原方霖 英領 自自自自自自 多自自

内科区



六二十四部 撃

皮属病 门科 病 門雲 済生医 院長 鳴尾



図兩・京東・舖木 店商屋見丸〇

すから

非明

12 12

ラ

PERSONAL PROPERTY.

康申申申申申 東車

生医院 直

胜